

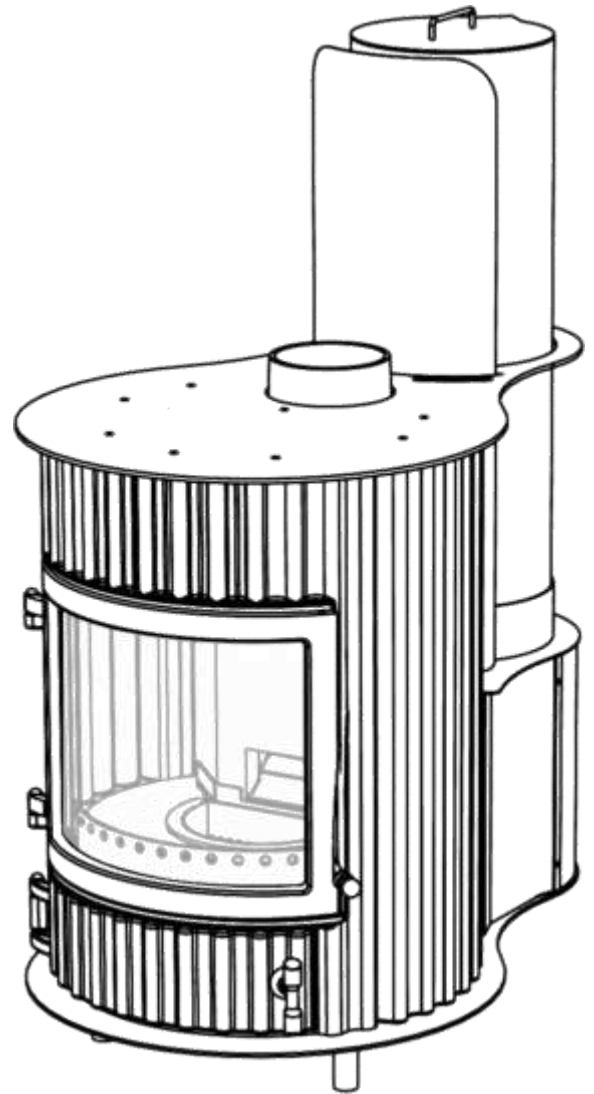
電気ペレット・薪兼用ストーブ

時計型 plus

YNE-60

取扱説明書

※ この取扱説明書は
大切に保管してください。



詳細

本体サイズ： W500 x D780 x H670mm
(タンク含： H1010mm)

材質： 鋳物,鋼板(天板・燃烧部),
ステンレス(燃烧部)

重量： 約150kg

煙突径： 106mm

煙突位置： 上部

電源： 100V (アース付)

消費電力： 約10~17W (点火時:365W)

点火方式： ヒータ点火式

機能： 自動点火,自動消火

安全装置： 感震装置,過熱防止装置

使用燃料： 木質ペレット(ホワイト・全木),乾燥薪

ペレット容量： 10kg

ペレット消費量： 1.0~2.2kg/h
(使用燃料により異なります)

最大薪長さ： 300mm

最大熱出力： 約6,000kcal(MAX)

暖房面積： 20~25坪

燃烧方式： 輻射式

付属品： ストープ温度計 1,プラグ変換アダプター 1,
燃烧防止シャッターA 1,
燃烧防止シャッターB 1,取扱説明書 1

生産国： 日本

商品コード： 12401

JANコード： 4934756104773

はじめに

このたびは弊社の電気式ペレット・薪兼用ストーブ 時計型plus YNE-60（以下YNE-60またはストーブ）をご購入いただきまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全・快適なストーブライフをお愉しみください。

また、この取扱説明書にはストーブを末長くご使用いただくために重要な情報が記載されています。取扱説明書は大切に保管してください。

■ 取扱説明書内の表示について

 警告	この表示は、記載事項をお守りいただかない場合、火災の危険性、死亡または重傷を負う危険性が想定されることを示します。
 注意	この表示は、記載事項をお守りいただかない場合、火災や傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されることを示します。
	この表示は、禁止されていることを示します。
	この表示は、必ず守っていただきたいことを示します。
	この表示は、取扱や補足説明を示します。



目 次

はじめに	2
目次（本ページ）	3
取扱い上のご注意	4
各部の名称	6
ストーブの操作と焚き方(ペレット)	8
ストーブの操作と焚き方(薪)	16
正しいYNE-60の設置	19
正しい煙突の設置	22
メンテナンスと点検	27
故障・異常の見分けかたと処置のしかた	33
部品交換の方法	34
困ったときのQ&A	37



取扱い上のご注意

警告

-  ストープや煙突の近くにスプレー缶やガソリントank、消火器等、破裂・爆発・引火のおそれがあるものは絶対に置かないでください。爆発や火災の原因になります。
-  ストープや煙突に水等の液体をかけたり、紙や衣類などの可燃物を乗せないでください。
ストープや煙突に紙や衣類などの可燃物が接触する可能性がある状況を作らないでください。
火災の原因になります。
-  木質ペレットと薪以外の燃料使用禁止。(薪 … 焚き火用に用意された木、枝、木材のこと)
異常燃焼による故障や火災の原因になります。
-  ストープの使用中、ストープの扉を開けたままその場を離れないでください。
-  地震の災害発生時には、余震がおさまるまでは使用を差し控えてください。
-  ストープの使用中、ストープや煙突を移動させないでください。
-  燃焼灰は可燃性の容器に入れないでください。
-  燃焼中のペレットや薪をストープから取り出さないでください。
-  ストープは必ず煙突の設置を行ってください。
煙突は設置基準や法令を遵守して適切に設置してください。
-  ストープや煙突周りの可燃物とは十分な離隔を設け、高温にならないよう適切に遮熱を行ってください。
遮熱が不十分な場合、火災の原因になります。(参考：P.19~21)
-  ストープ使用中は、換気せずに使用を続けないでください。窓や戸を2箇所以上開けて1時間に1~2回(1~2分)換気してください。酸素が不足すると、不完全燃焼を引き起こす危険性があります。
-  定期的に煙突掃除を行ってください。高所作業になる場合は命綱を装着するなど安全には十分注意してください。煙突がススやタールで詰まると、不完全燃焼や煙道火災を引き起こす危険性があります。
-  ストープ使用中は付属の温度計を用いてストープ等の温度を確認してください。
-  次の場所では、ストープを使用しないでください。火災・不完全燃焼・故障の原因になります。
水平でない場所、不安定な場所、振動の激しい場所、十分な換気が行えない場所、ほこり・湿気・金属粉の多い場所、低気圧の環境(標高1000m以上の高地)、スプレーや化学薬品を使う場所
-  電源プラグとコードを傷めたり、加工されたり、重い物を乗せたり、高温部に近づけないでください。
また、束ねたまま使用しないでください。電源プラグを抜く時は、コードを持って引き抜かないでください。
コードが破損して、火災や感電の原因になります。

注意

-  脂分（ヤニ）を多く含む薪は使用しないでください。
ストーブや煙突を傷めたり、ススやタールが発生する原因になります。
-  湿ったペレットや薪は使用しないでください。
燃焼不良となり、ススやタールが発生する原因になります。
-  塩分、硫黄、接着剤等金属の腐食成分を含む薪の使用禁止。
製品破損や健康を害する原因になります。
(例：流木、海岸防風林、硫黄消毒された木、集成材、合板、防腐処理材 等)
-  初めてストーブを使用される際は、ストーブ表面の塗料が焼ける臭いがします。
異常ではありませんので、しばらく換気しながらご使用ください。
-  ストーブ使用中はストーブおよび煙突が大変熱くなります。
素手で触れたり、身体を接触させないでください。やけどのおそれがあります。
-  就寝時、外出時はストーブが消火していることを確認してください。
-  ストーブを移動する際は、床などが傷つかないよう養生し、
必要十分な人員または機材を用意し、安全に注意して作業を行ってください。
-  ストーブや煙突の掃除を行う際、燃焼灰やスス等が舞うおそれがあります。
防塵用マスクやメガネ等を着用し、お部屋は適切に汚れ対策をしてください。
-  ストーブは重量のある部品や鋭利な部品で構成されています。
作業時には軍手等を着用し、けがには十分ご注意ください。
-  小さいお子様がいらっしゃる場合は、保護者の方がお子様の安全を確保してください。
ストーブゲート【別売】を設置するなど安全策を講じてください。
-  ストーブ用の消火器を設置する場合は粉末消火器をお求めください。
消火器はストーブの近くには置かず、十分距離を離して設置してください。
-  電源プラグは、コンセントに根元まで差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。また、ぬれた手でプラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。
-  電源プラグは、定期的に（年 1 回以上）コンセントから抜いて、
電源プラグに付着した ほこり を乾いた布などで拭き取ってください。
ほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり、火災や事故の原因になります。

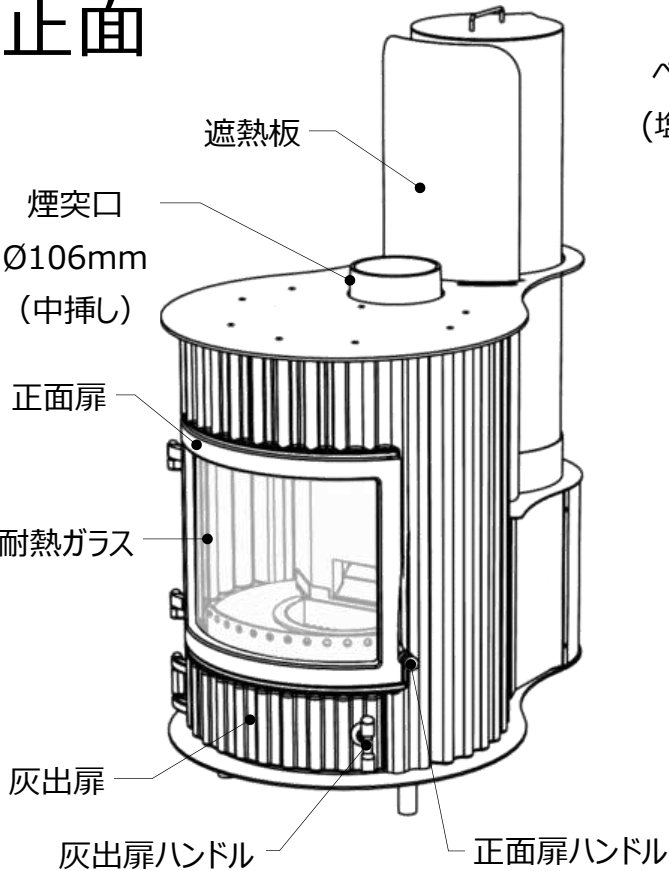
※ 注意事項に反して生じた損害について、弊社では一切の責任を負いかねます。

※ 煙やススなどによる建物その他の汚損、近隣トラブルの発生については弊社では責任を負いかねます。

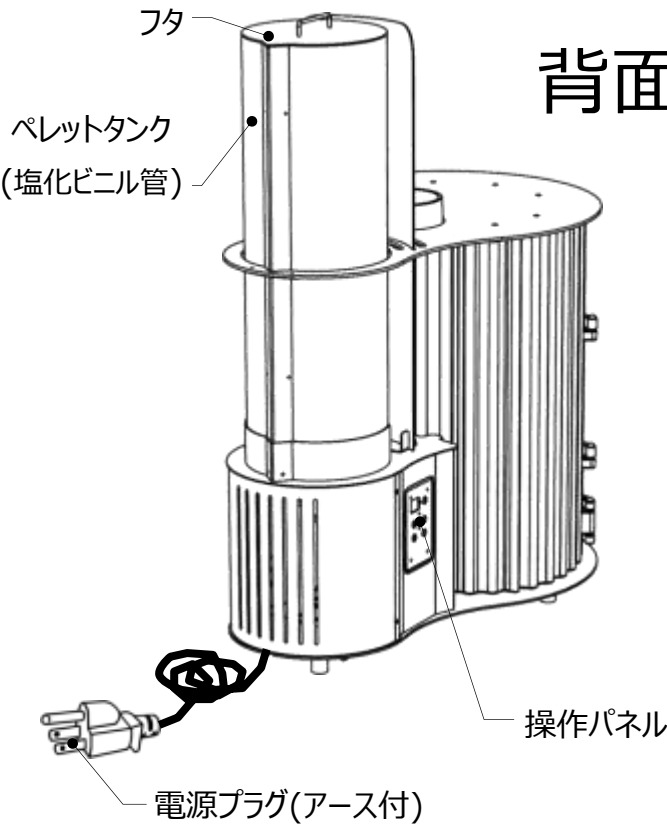
各部の名称

本取扱説明書では各部の名称を用いて取り扱いの説明をいたします。
あらかじめ名称をご確認ください。

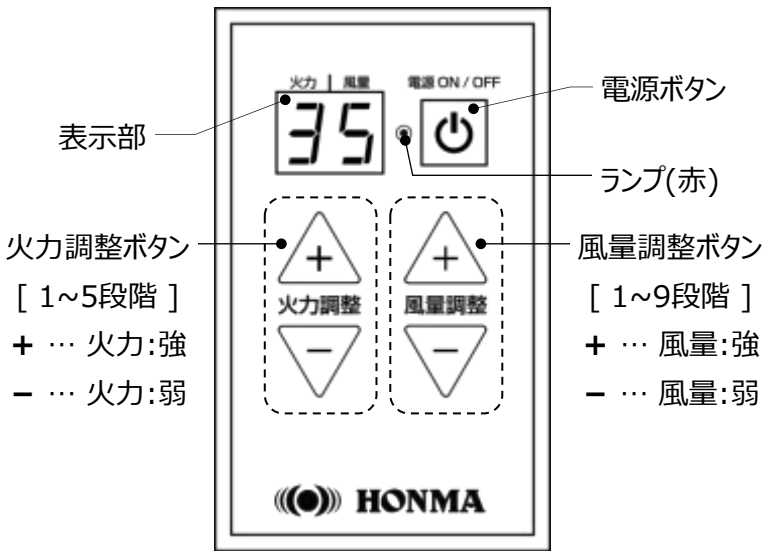
正面



背面



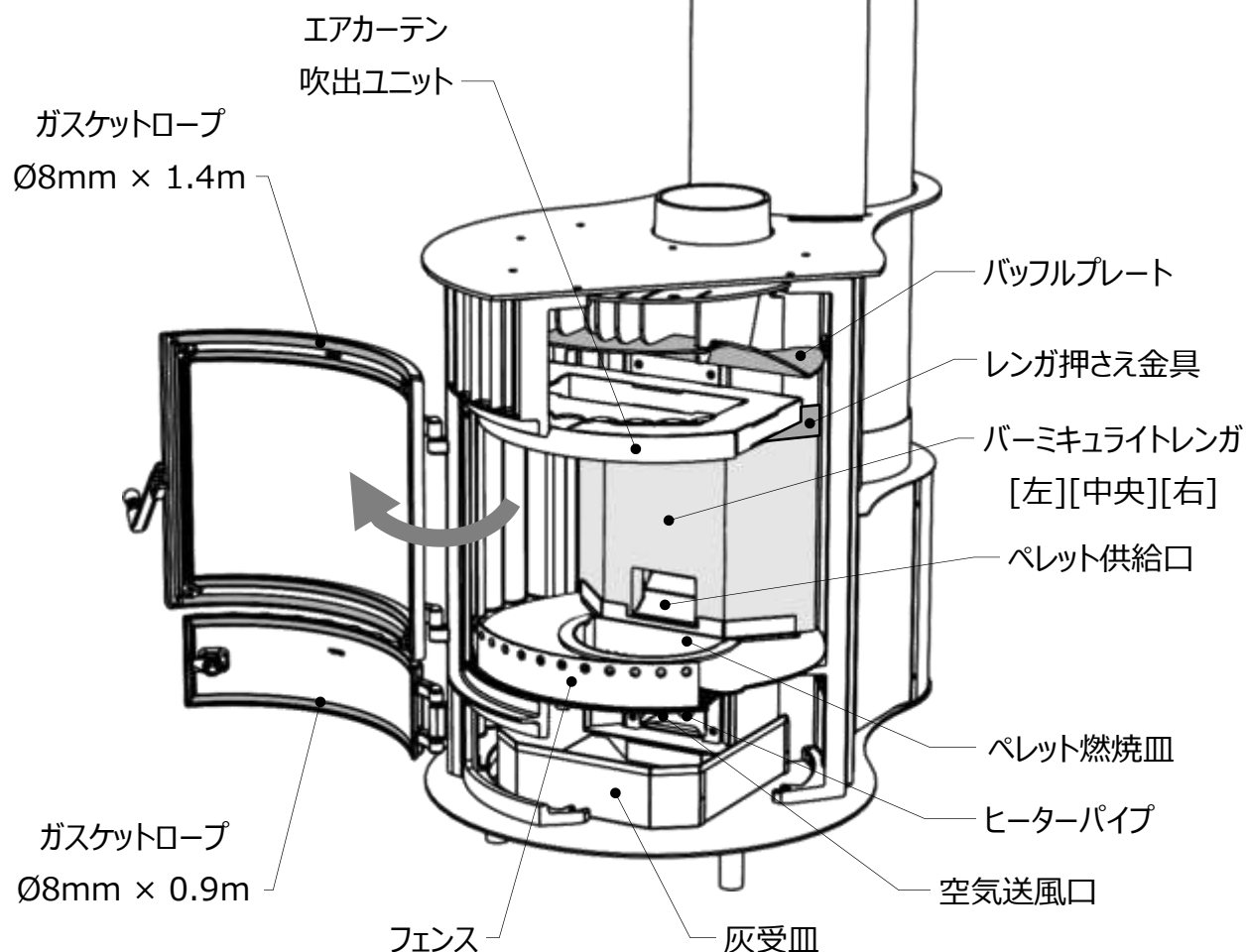
操作パネル - 各部名称



付属品

	付属温度計 1個 ストーブの温度を測るためのバイメタル式温度計。(参考：P.17)
	プラグ変換アダプター 1個 アースターミナル付コンセント用の電源プラグアダプター。(参考：P.9)
	燃焼防止シャッター-A 1個 薪使用時にペレット供給口を塞ぐ金具。(参考：P.16)
	燃焼防止シャッター-B 1個 薪使用時に空気送風口を塞ぐ金具。(参考：P.16)
	取扱説明書 1枚 本紙。

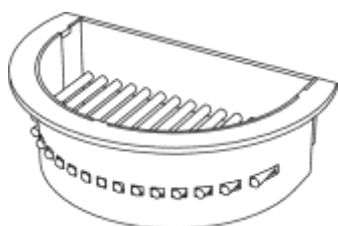
内部



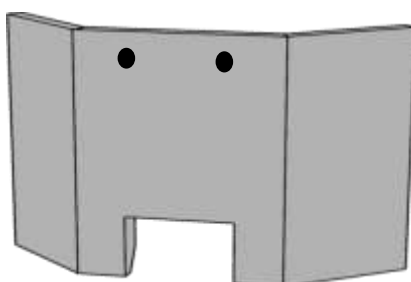
炉内部品

炉内部品は、消耗品となります。破損した場合は交換品(有料)を用意しております。

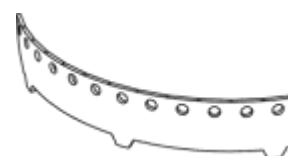
ペレット燃焼皿



バーミキュライトレンガ [左][中央][右]



フェンス



交換部品のお求めはホンマ製作所オンラインショッピングで！
<http://www.honma-seisakusyo.jp>

ストーブの操作と焚き方（ペレット）

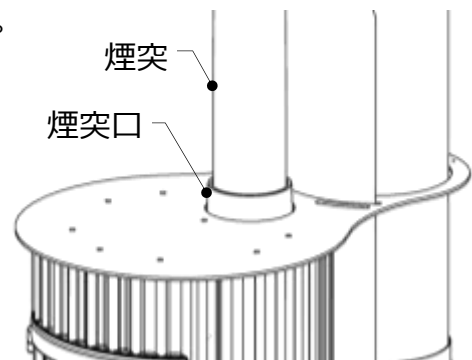
STEP 1 ご使用前の確認

ペレットをご使用される際には、ご使用前に下記内容をご確認ください。

- 1 ストーブに煙突が接続されていることを確認してください。

❗ **注意** 煙突が正しく接続されていないと、
燃焼中に排煙が室内に漏れる原因になります。

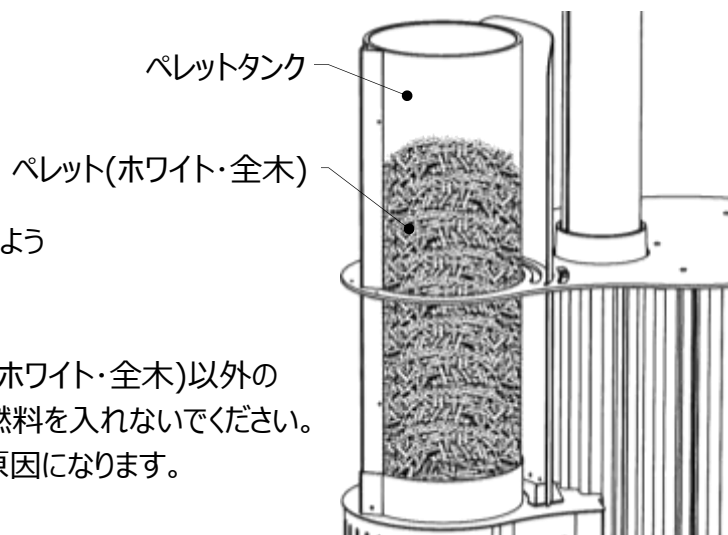
✖ **備考** 煙突と煙突口の隙間が気になる際には、
ガスケットロープ または 耐火セメントなどで
隙間を埋めることができます。



- 2 ペレットタンクに木質ペレットが
入っていることを確認してください。

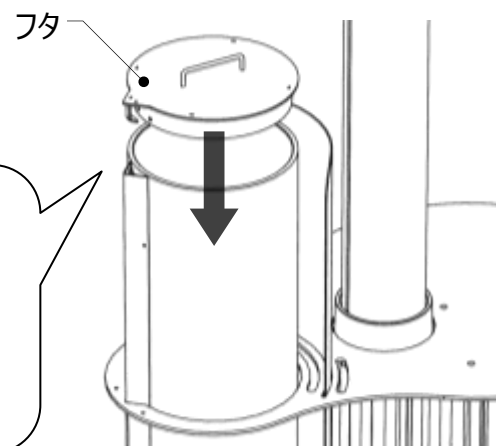
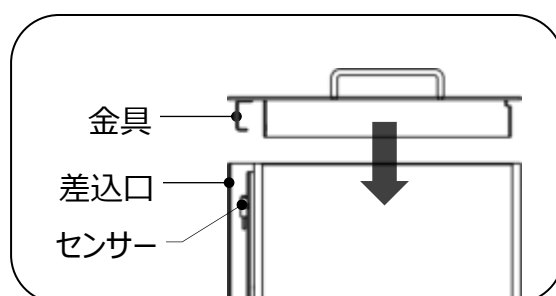
❗ **注意** ペレットタンクに異物が混入しないよう
十分にご注意ください。

⊘ **禁止** ペレットタンクには、木質ペレット(ホワイト・全木)以外の
固形燃料やガソリンなどの液体燃料を入れないでください。
異常燃焼による故障や火災の原因になります。

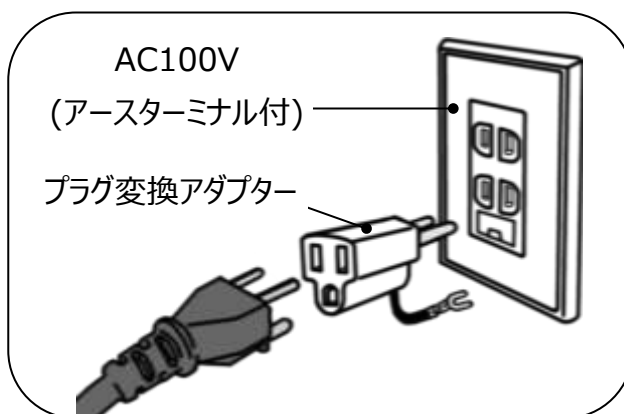
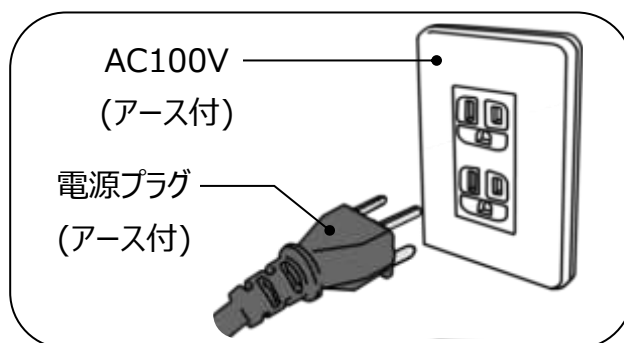
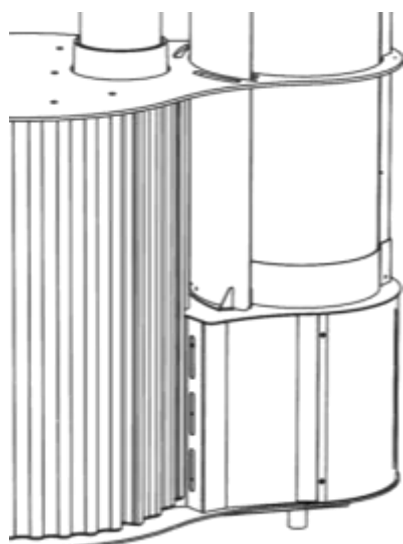


- 3 フタに付いている金具が差込口に正しく差し込まれていることを確認してください。

❗ **注意** フタの金具が差込口に差し込まれていないと、
点火を始めることができません。



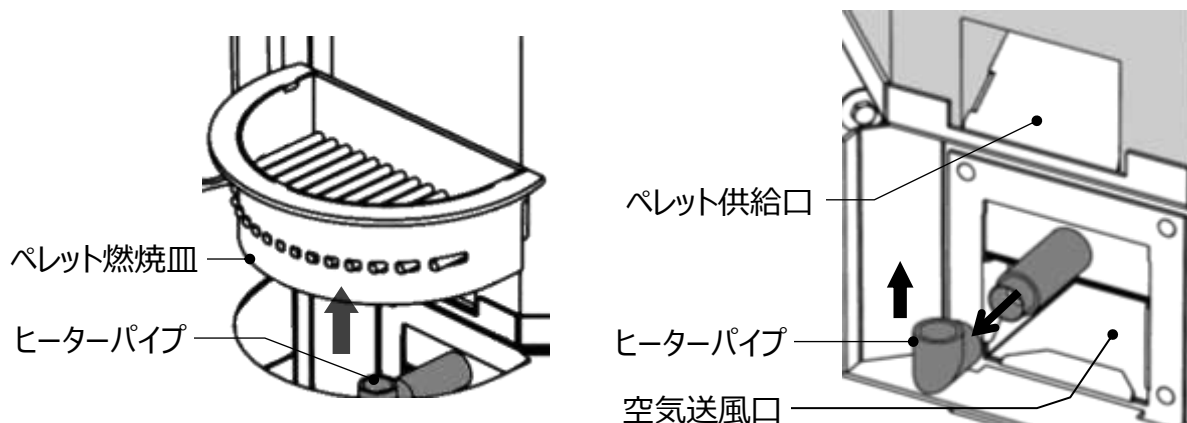
- 4 ストープの背面下部から伸びている電源プラグをコンセント(AC100V)に
しっかり差し込んでください。接続すると、ストーブから起動音が鳴ります。
アース付コンセントでない場合には、YNE-60付属の**プラグ変換アダプター**をご使用ください。



⊘ 禁止 - 電源プラグおよびコードの取り扱い

- AC200V電源には絶対に差し込まないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 電源プラグは、コンセント（AC100V）に根元まで確実に差し込んでください。
差し込みがゆるい状態で使用されると、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグとコードを傷つけたり、変形させないでください。
加工する、重い物をのせる、高温部に近づく、束ねる、無理に曲げる、ねじる、挟み込む
引っ張るなどをすると、電源プラグやコードが破損して火災や感電の原因になります。
電源プラグやコードが破損したときは、ストーブを使用しないでください。
- ぬれた手で電源プラグを触らないでください。感電やケガの原因になります。
- アースの取り付けを行ってください。漏電や故障により、火災や感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。
コンセントやコードに想定外の熱が発生し、火災の原因になります。
- 電源に発電機を使用するときは、家庭用電源(AC100V)と同様の電源供給ができる機器を
使用してください(詳しくは、発電機メーカーに確認してください)。
不適切な機器を使用すると、ストーブが正常に作動せず、故障の原因になります。

- 5 ストープ炉内の空気送風口・ヒーターパイプ・ペレット供給口に異物や汚れ(燃烧灰など)が詰まっていないか確認してください。
ヒーターパイプは、点検しやすいように先端が取り外しができます。
ヒーターパイプは、下図のように上を向けて取り付けてください。

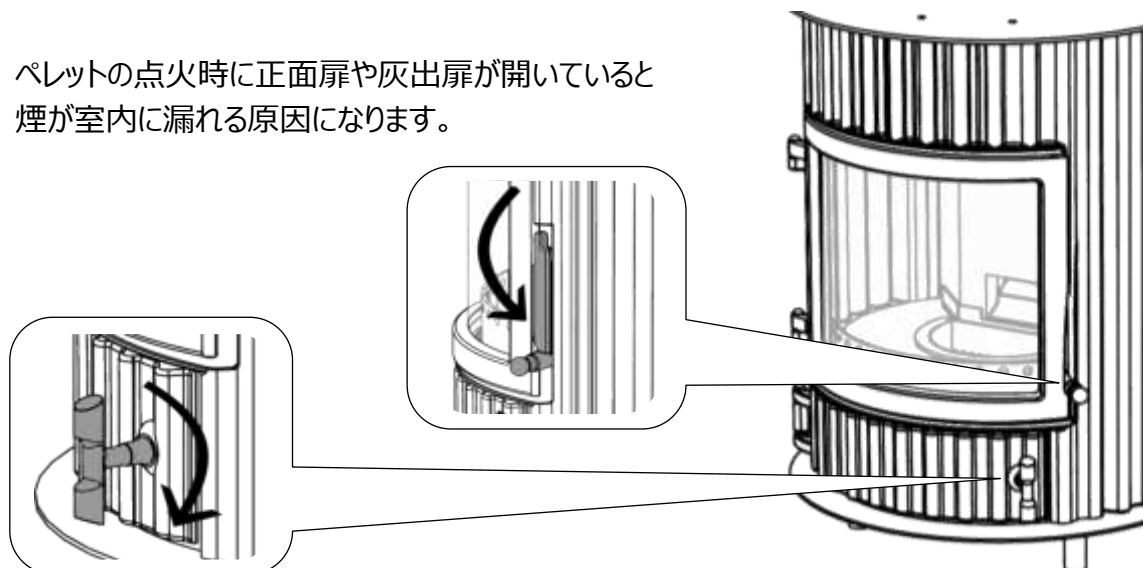


① 注意 - 使用前の確認

- ペレット供給口が汚れ(燃烧灰など)で詰まると、燃烧不良や故障の原因になります。
(メンテナンス方法 - 参照 : P.27)
- ヒーターパイプに汚れ(燃烧灰など)が残っていると、点火不良や故障の原因になります。
(メンテナンス方法 - 参照 : P.28)
- 空気送風口が汚れ(燃烧灰など)で詰まると、不完全燃烧や故障の原因になります。
(メンテナンス方法 - 参照 : P.28)
- ペレットを使用する時は、薪の燃烧用に取り付けた燃烧防止シャッターA、Bを取り外してください。(参照 : P.16)
ペレット供給を行う部品の故障 や ペレットの不完全燃烧 が起こる原因になります。

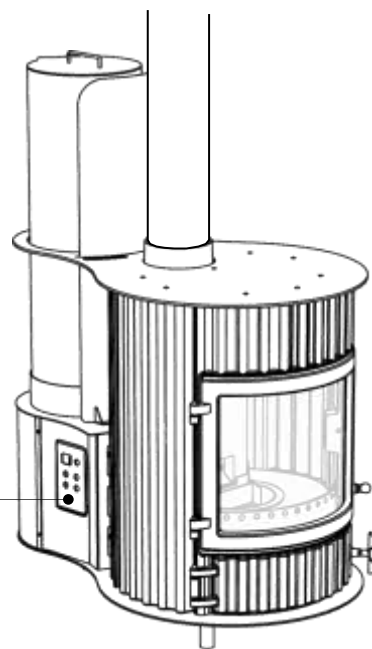
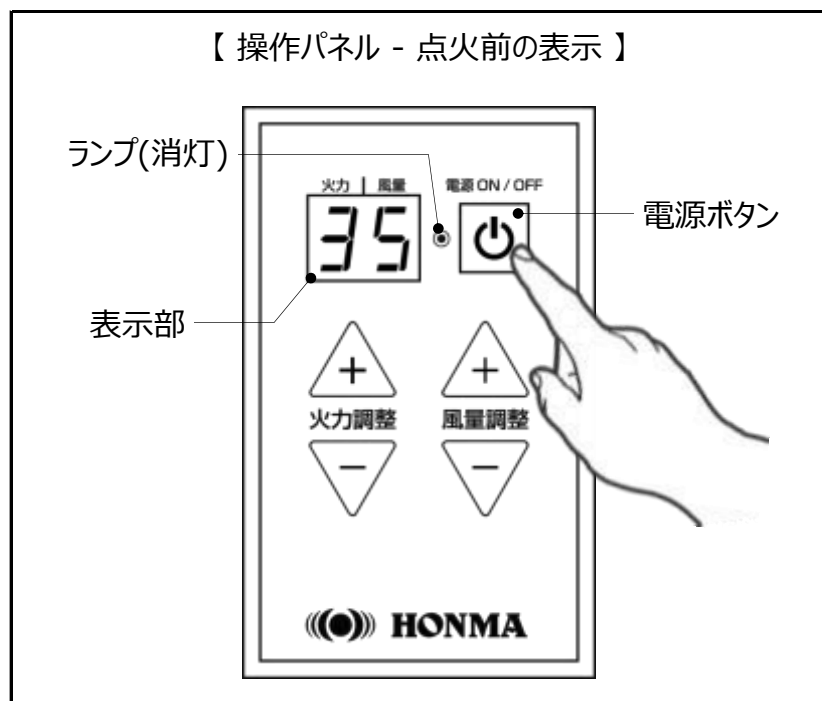
- 6 ストープの正面扉と灰出扉が閉められていることを確認してください。

- ① ペレットの点火時に正面扉や灰出扉が開いていると
注意 煙が室内に漏れる原因になります。



- 7 操作パネル 表示部の点灯を確認してください。(初期表示 "火力 3,風量 5")
点灯を確認後、電源ボタンを押してストーブを稼働させます。

ⓘ 初めてストーブを使用される際は、ストーブ表面の塗料が焼ける臭いがします。
注意 異常ではありませんので、しばらく換気しながらご使用ください。

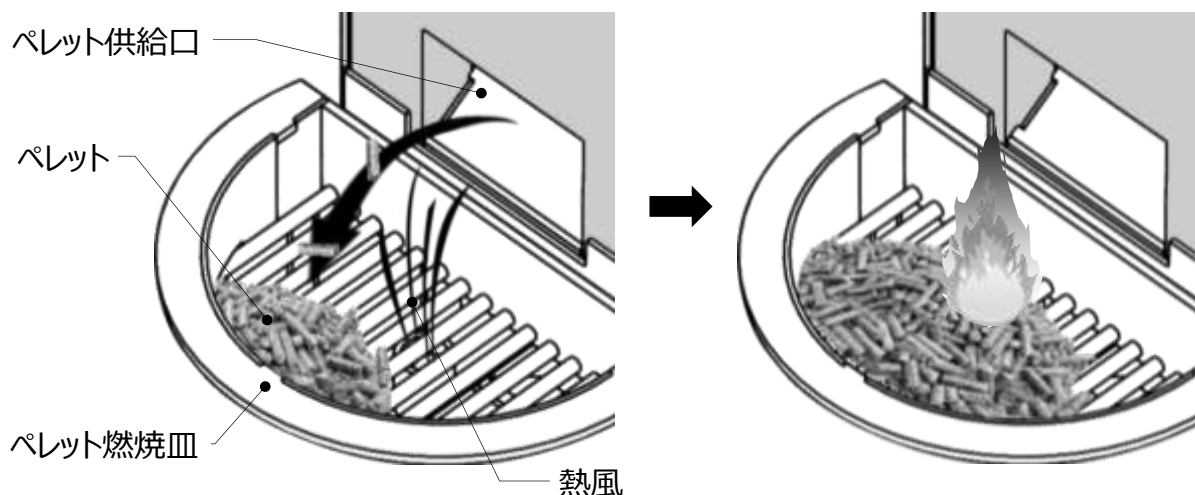


✖ 表示部に "E 1" と表示されてストーブが反応しない！
備考 解決方法：ペレットタンクのフタを正しくセットしてください。(参照：P.8 3)

STEP 2 点火開始

電源ボタンを押した後に行われる初期点火について説明いたします。

- 1 操作パネルの電源ボタンを押すと、ストーブが“初期点火”に移行します。
初期点火中は、操作パネルのランプが“点滅状態”になり
ペレット供給口からペレット燃焼皿にペレットが供給され始めます。
点火は、ペレット燃焼皿下部のヒーターパイプから出る熱風によって自動的に行われます。



⚠ 初期点火中は、むやみに正面扉と灰出扉を開閉しないでください。
注意 火の粉・煙などが室内に漏れる原因になります。

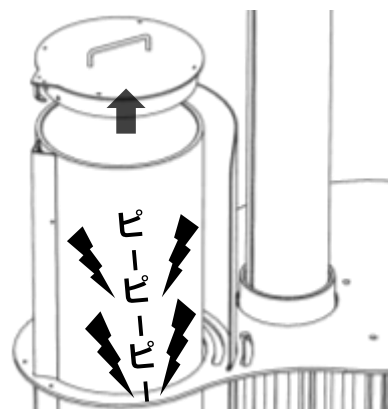
✖ ペレットがすぐに供給されない！
備考 ペレットタンクに新しいペレットを投入した直後は、ペレット供給口まで
ペレットが運ばれている途中です。しばらくお待ちください。

- 2 初期点火中は、操作パネルの表示部に表示された“火力”と“風量”は反映されません。
初期点火を開始してから12分後、自動的に“安定燃焼”へ移行します。

✖ 初期点火中にペレットタンクのフタを開けると
備考 ストーブからアラームが鳴り、
操作パネルの表示部に“E 1”と表示されます。

【解決方法】

フタを定位置（参照：P.8 3）に戻してから
電源ボタンを押すとアラームが止まり、
初期点火が始まります。



STEP 3 安定燃焼

初期点火終了後、ストーブを安全にご使用いただく方法について説明いたします。

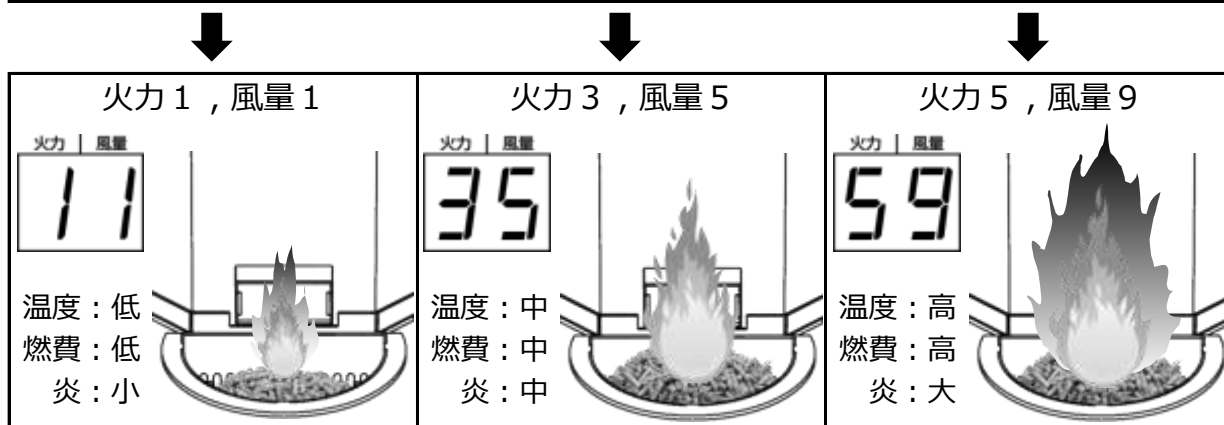
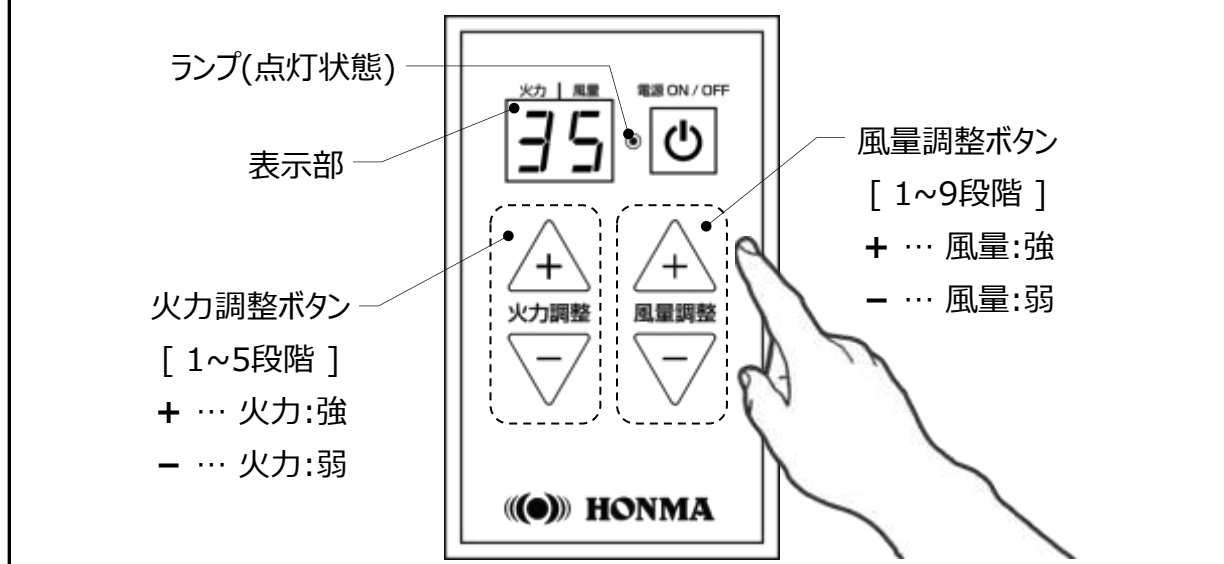
1 初期点火が終了すると、“安定燃焼”に移行します。

安定燃焼中は、操作パネルのランプが“点灯状態”になり、“火力調整ボタン”と“風量調整ボタン”で暖房能力を調整できます。

火力調整ボタン … ペレットの供給量を調整できます。設定した数値が大きいほど、ペレットの供給量が多くなり、ストーブの温度が高くなります。

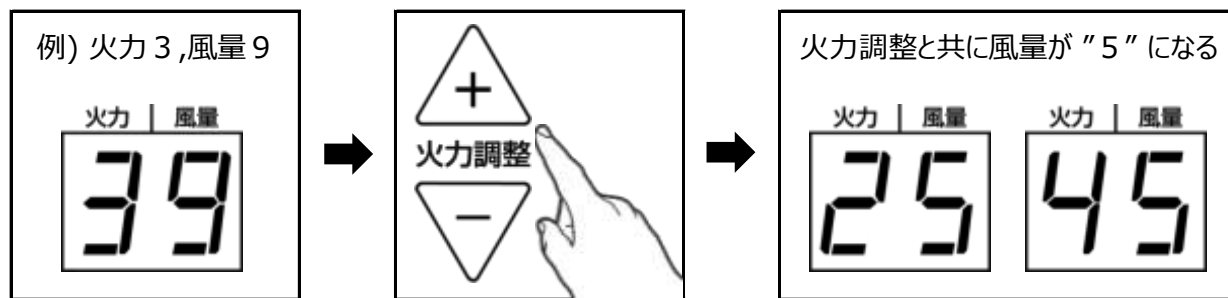
風量調整ボタン … ペレットへ送られる送風量を調整できます。設定した数値が大きいほど、ペレットの燃焼が促進されます。また、耐熱ガラスにスス汚れが付きにくくなります。

操作パネル - 安定燃焼中の操作



安定燃焼中は、むやみに正面扉と灰出扉を開閉しないでください。
火の粉・煙・燃焼灰などが室内に漏れる原因になります。

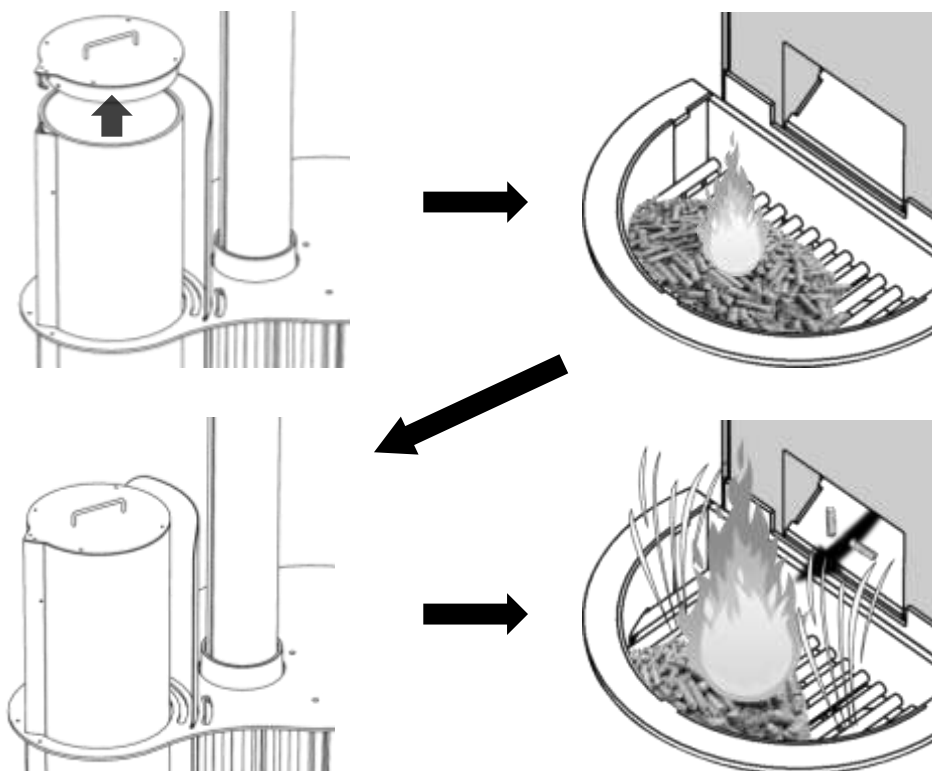
- 2 火力調整ボタンを押すと、ペレットの“過剰燃焼”や“不完全燃焼”を避けるため自動的に各火力の“風量5”に変更されます。



STEP 4 ペレットの追加（安定燃焼中）

安定燃焼中に新しいペレットを追加する方法を説明いたします。

- 1 安定燃焼中、新しいペレットをペレットタンク(容量10kg)へ追加するためにフタを開けると一時的にペレットの供給と送風が止まります。ペレットの追加を終えてフタを定位置（参照：P.8 **3**）に戻すとペレットの供給と送風が再開します。

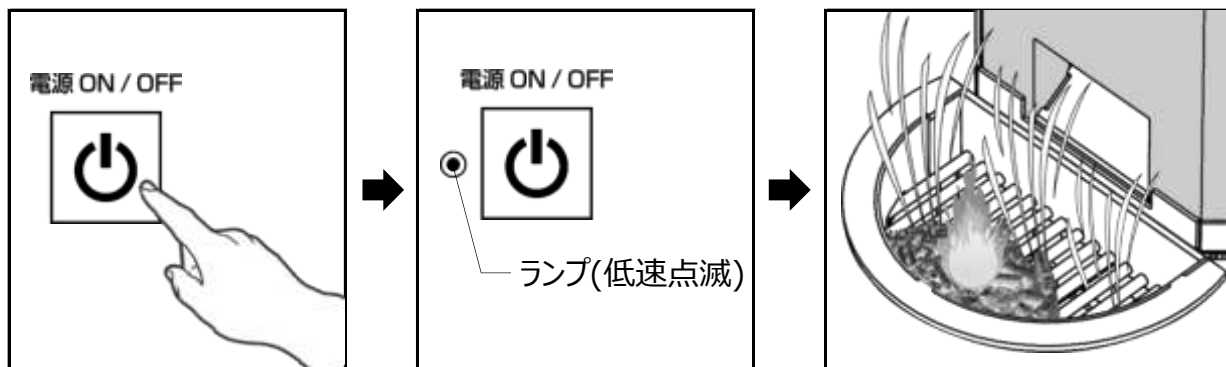


※ 備考 ペレットタンクのフタが3分以上開いていると、閉め忘れ防止としてアラームが鳴ります。アラームは、フタを定位置（参照：P.8 **3**）に戻すと止まります。

STEP 5 ペレットの消火

ペレットの消火について説明いたします。

- 1 安定燃焼中にペレットの消火を行う時は、操作パネルの電源ボタンを押します。
電源ボタンを押すと、“強制消火”に移行してランプが“低速点滅状態”になります。
強制消火中は、ペレットの供給が止まり送風量が増えます。



ⓘ 強制消火中は、むやみに扉を開閉しないでください。
注意 火の粉・煙・燃焼灰などが室内に漏れる原因になります。

✕ 強制消火中は、ペレットタンクのフタを開けても送風は止まりません。
備考 強制消火中にもう一度電源ボタンを押すと、初期点火が始まります。

-
- 2 強制消火を開始してから15分後、送風ファンの運転が止まり、強制消火が終了します。

ストーブの操作と焚き方（薪）

STEP 1 薪のセット

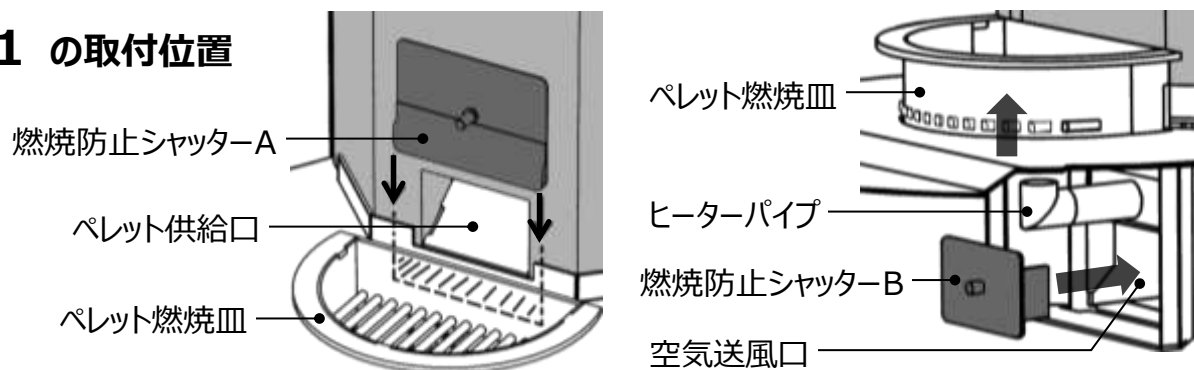
薪を使う場合は、下記のようにお使いください。

- 1 燃烧防止シャッターAをペレット供給口に、燃烧防止シャッターBを空気送風口に取り付けます。
- 2 乾燥薪を数本炉内に置きます。（1～2本）
- 3 乾燥薪の上に焚き付けを適量置きます。慣れないうちは多めに入れたほうがよいでしょう。
- 4 焚き付けの間に着火剤を置きます。（1～2片）

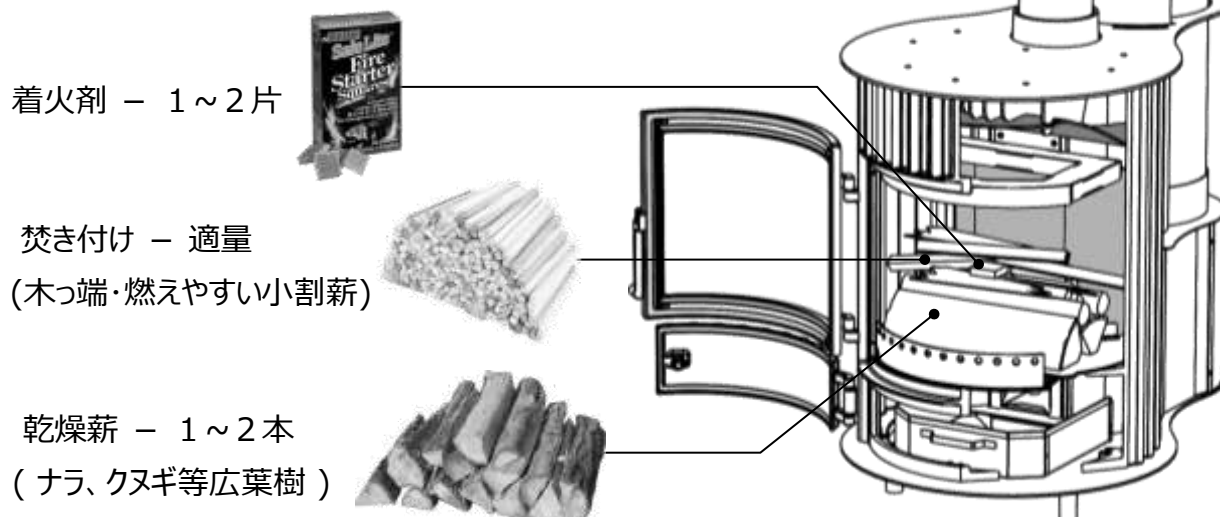
❗ 電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で薪を燃やさないでください。
注意 ストーブの予期せぬ動作 や 故障 の原因になります。

❗ 薪を燃やす時は、ペレット燃烧皿と空気送風口に燃烧防止シャッターを取り付けてください。
注意 ストーブ部品の故障 や ペレットへの引火による火災 を予防することができます。

1 の取付位置



薪を燃やす時のセット方法



STEP 2 薪の点火と燃焼

薪の着火から燃焼状態を説明いたします。

ストーブを操作する際は必ず皮手袋等を着用し、やけど等に十分ご注意ください。

- 1 マッチ、ライター等で着火剤に点火します。
着火剤から炎が上がり、焚き付けに炎が引火したら
ゆっくりと扉を閉めてください。



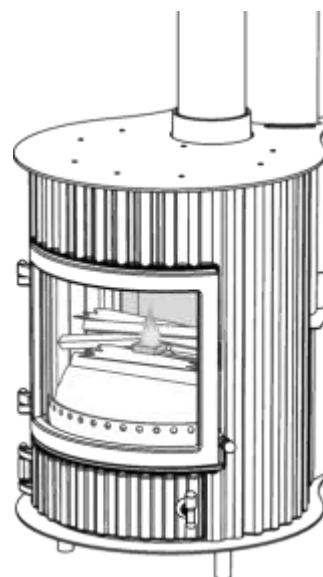
注意

初めてストーブを使用される際は、
ストーブ表面の塗料が焼ける臭いがします。
異常ではありませんので、しばらく換気しながらご使用ください。



注意

焚き始めは不完全燃焼により煙が多く発生しがちです。
むやみな正面扉の開閉は煙が室内に漏れる原因になります。



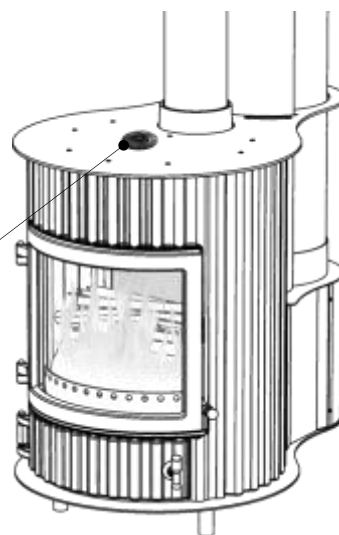
備考

燃焼を促進させたい場合は灰出扉を少し開けて空気を取り入れてください。

- 2 ストーブ内に入れておいた乾燥薪も十分に燃え上がったら、
YNE-60付属のストーブ温度計で温度測定をします。
温度計の位置は、YNE-60本体の天板中央部分です。
温度計の針が150℃を超えて
BURN ZONE (150~300℃)に到達するまで
様子を見ます。



ストーブ温度計



3 温度を150~300℃の範囲内で安定させます。

300℃をオーバーしないように薪の量を調節してください。



禁止

300℃をオーバーした状態を長時間放置されると…

ストーブ本体や炉内部品に歪み等が発生する場合があります。
また、火災等の思わぬ事故に繋がるおそれがあります。



禁止

薪が燃えている時に扉を開けないでください。
炎・火の粉・煙が室内に漏れて
火災の原因になります。



備考

新しい乾燥薪は、燃えていた薪が
熾火(赤く熱した炭火のような)状態 に
なってから追加してください。



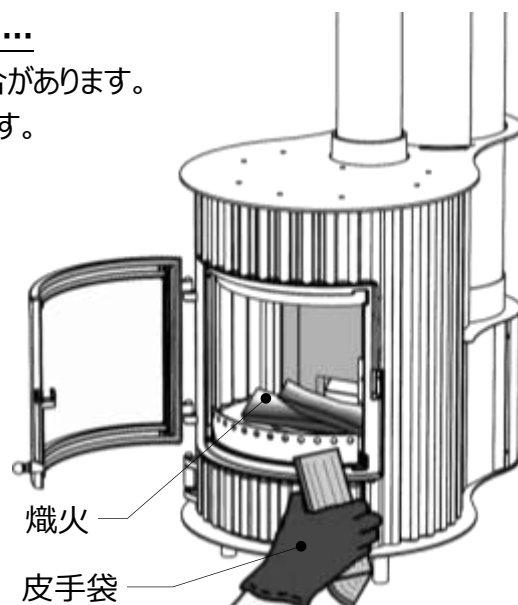
注意

新しい薪は、高く積み上げないでください。
崩れた時に耐熱ガラスが破損するおそれがあります。



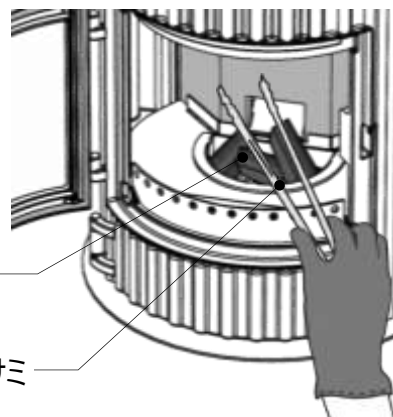
備考

火バサミ等を使って
熾火をペレット燃烧皿の中に移しておくと、
新しい乾燥薪が点火しやすくなります。



熾火

皮手袋



熾火

火バサミ

STEP 4 薪の消火

消火を行う時は、燃えている薪を燃やしきることが唯一の消火方法です。



禁止 - 薪の消火

- 燃烧中の薪に水を掛けないでください。本体破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 燃烧中の薪や熾火をストーブから取り出さないでください。火災の原因になります。
- 消火の為に、灰出扉を開けないでください。火の粉が漏れて火災の原因になります。

正しいYNE-60の設置

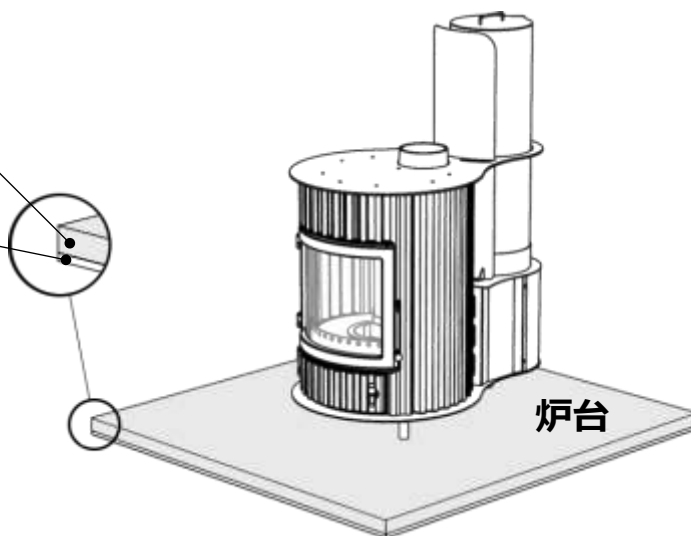
STEP 1 炉台の設置 ※ YNE-60を可燃性の床の上に設置する場合

YNE-60を可燃性の床（フローリング等）の上に直接置くことはできません。

必ず不燃材料で炉台を製作してください。

床が不燃材料（コンクリート土間等）の場合は炉台の設置は不要です。

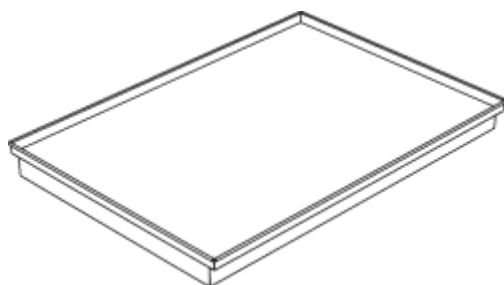
特定不燃材料
(レンガ、タイル等)
不燃ボード
10mm厚以上
(ケイカル板等)



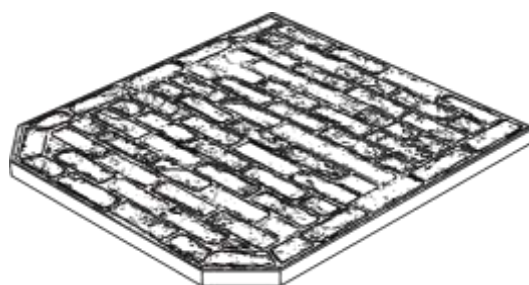
 YNE-60を
禁止 直接可燃性の床の上に置かない。

 床強度が不足しないように補強を行ってください。
注意 床のきしみや傷みの原因になります。

弊社では、炉台としてご利用いただける
既製品の ステンレス ストープ台 AS-50(別売) や ブロック炉台(別売) もご用意しております。



ステンレス ストープ台 AS-50



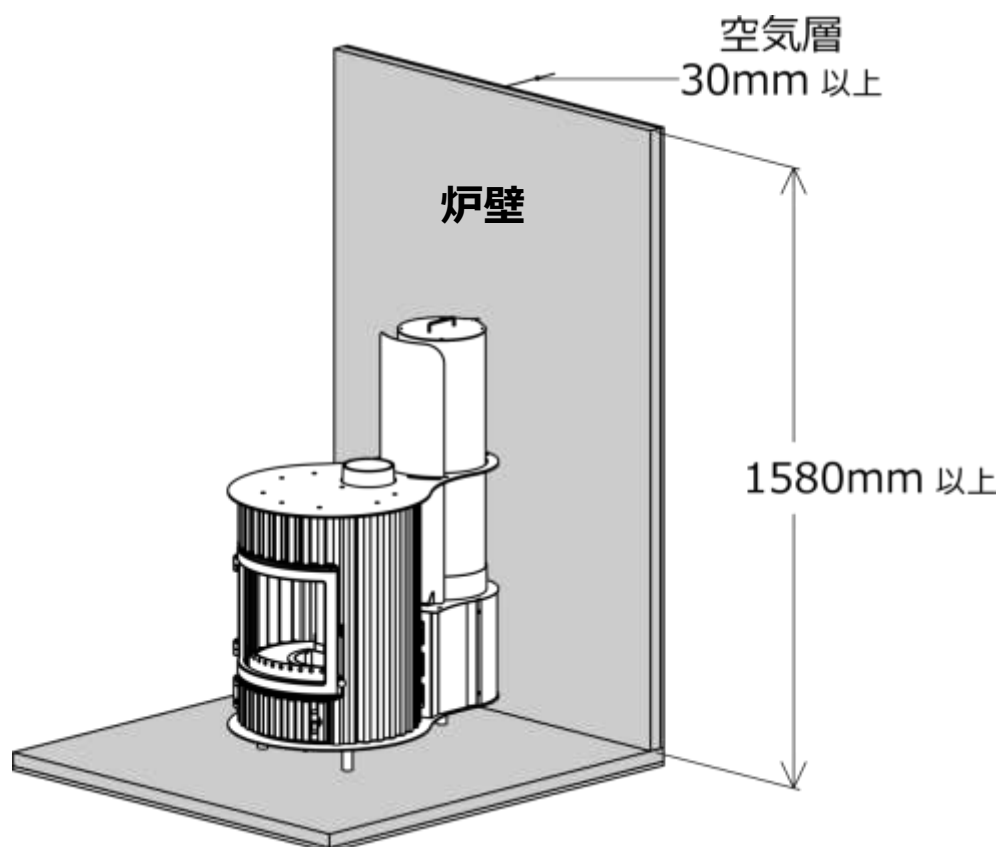
ブロック炉台



ステンレス ストープ台 AS-50 とブロック炉台 各種は
ホンマ製作所オンラインショッピングでお求めいただけます
<http://www.honma-seisakusyo.jp>

STEP 2 炉壁の設置 ※ YNE-60を難燃性の壁付近に設置する場合

YNE-60の背後等に炉壁を立てることで、YNE-60を難燃性の壁（一般的な木造住宅の壁）に指定距離まで近づけて設置することが可能になります。

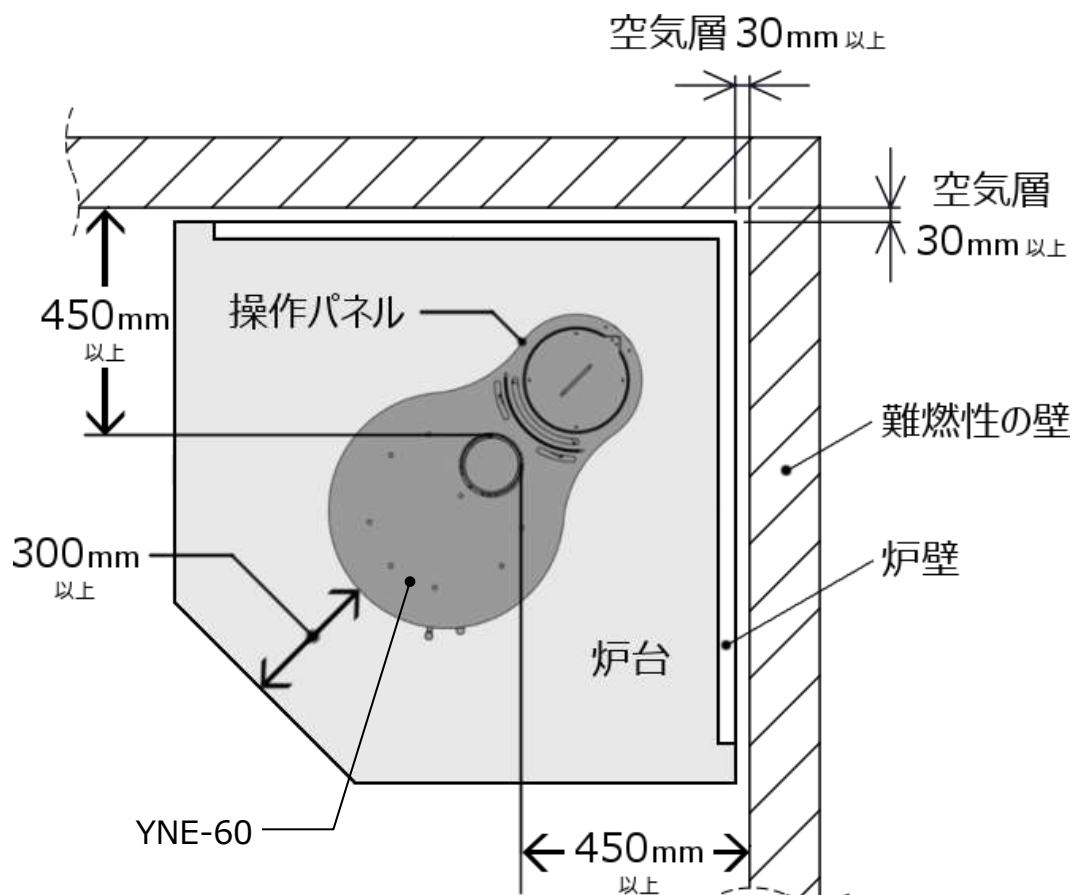
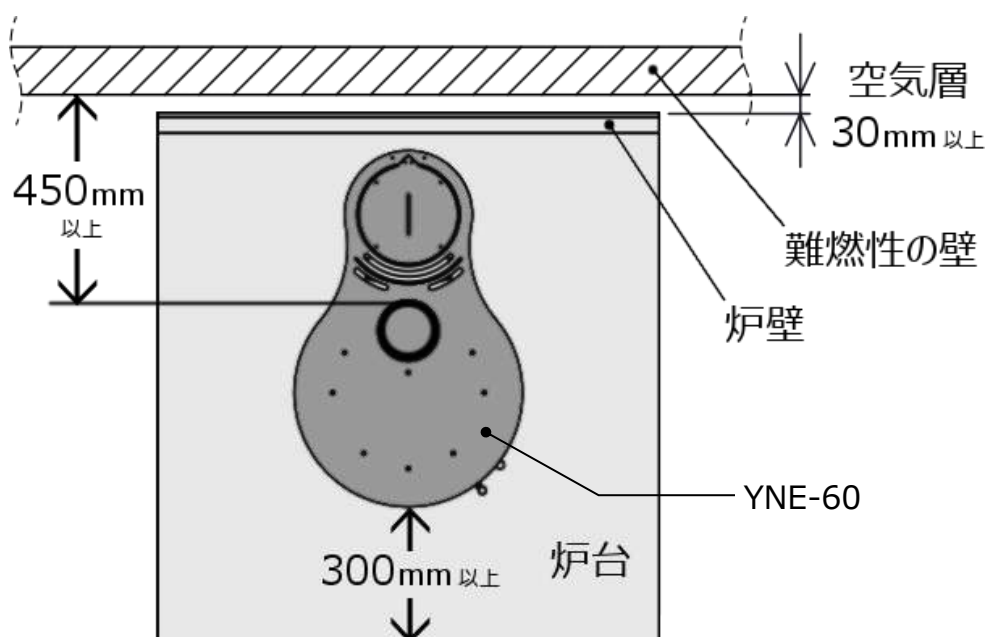


① 注意 - 炉壁の設置

- 炉壁の素材は、特定不燃材料(レンガ、金属板等…ただし、アルミ、ガラスは除く)とします。
(炉壁の厚さは不問)
- 炉壁の高さ遵守。
- 難燃性の壁と炉壁の間には、必ず30mm以上の空気層を設けてください。
- 炉壁は、必ず安定して自立できる構造のこと。

YNE-60（煙突位置上部）の 設置最低壁面離隔距離

! 必ず指定距離以上の
離隔を設けてください。
注意

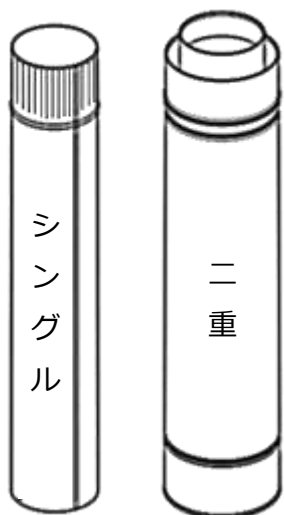


正しい煙突の設置

STEP 1 使用する煙突の確認

YNE-60の使用煙突径は **106mm** です。(煙突・関連部材別売)

煙突は“ハゼ折り煙突”、“溶接煙突”の2種類ありますので、いずれかをお求めください。



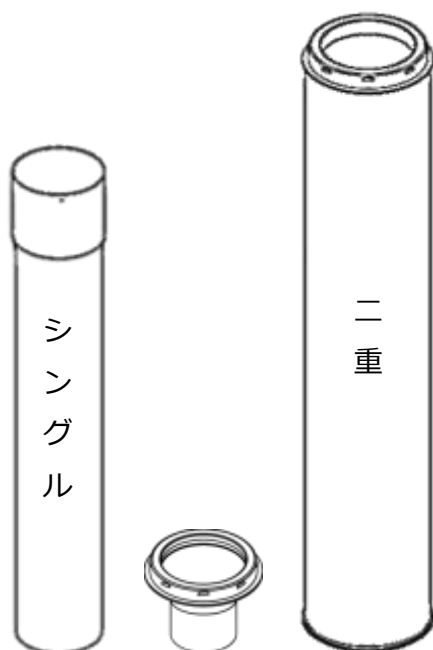
ハゼ折り煙突

- シングル： **106mm**
ステンレスSUS430 厚さ0.3～0.4mm
※ 正差^φ接続 (YNE-60には逆差しで接続)
- 二重： **106mm**
内筒・外筒／ステンレスSUS430 厚さ0.4mm
※ 外径 = **150mm**
※ 空気層断熱式
※ 差込み接続



注意

ハゼ折り煙突と溶接煙突は互換性がありません。
混ぜて使用しないでください。



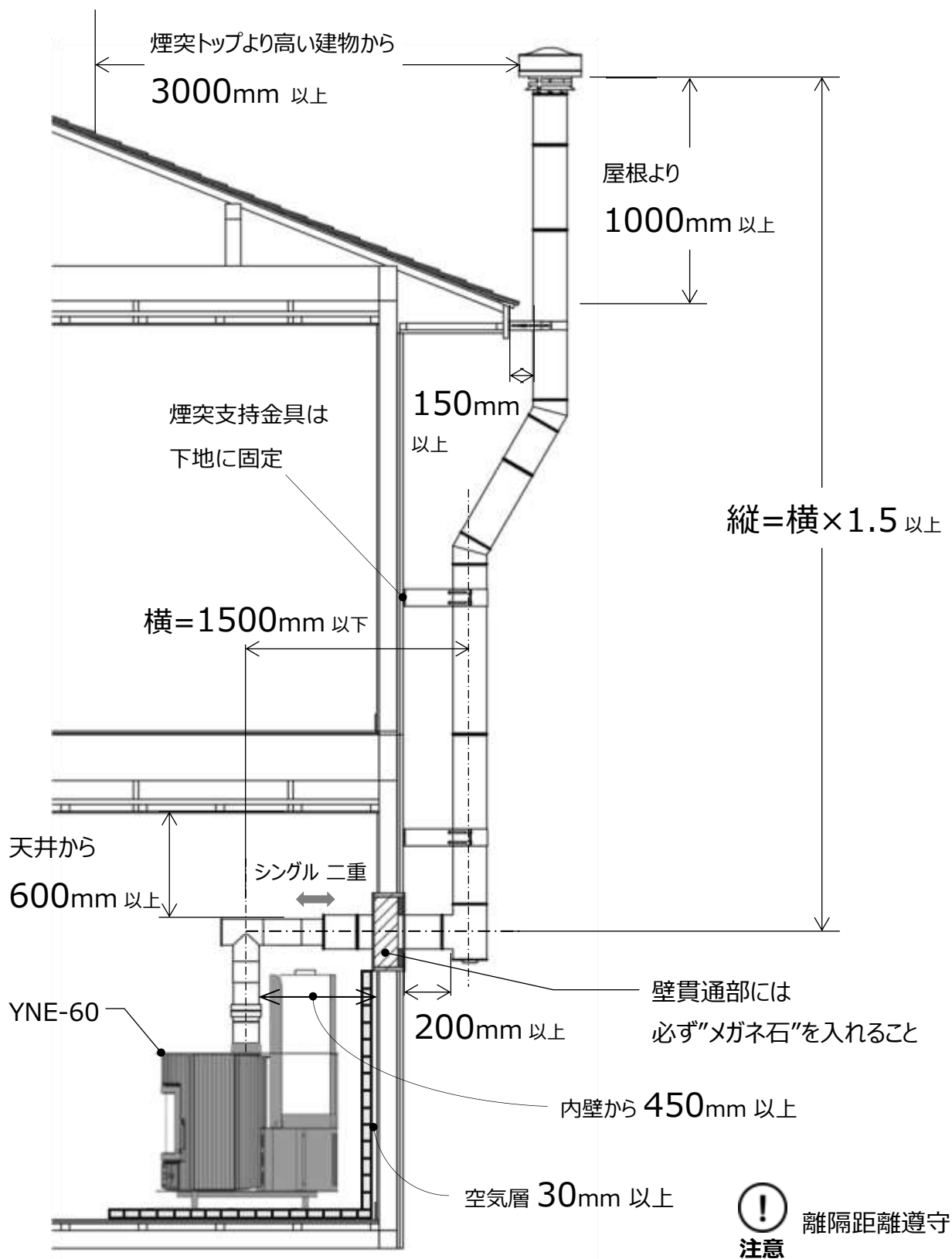
溶接煙突

- シングル： **106mm**
ステンレスSUS304 厚さ0.5mm
※ 逆差^φ接続
- 二重： **120mm**
内筒・外筒／ステンレスSUS304 厚さ0.5mm
※ 外径 = **175mm**
※ 断熱材入り
(セラミックファイバーブランケット)
※ 差込み+ロック接続^φ
※ 溶接シングル煙突 106mmから^φ
溶接二重断熱煙突 120mmに接続する際には、
インアダプター 106mm用が必要です。

STEP 2 煙突壁出し設置基準の確認

煙突は下記の基準寸法等を遵守のうえ設置を行ってください。

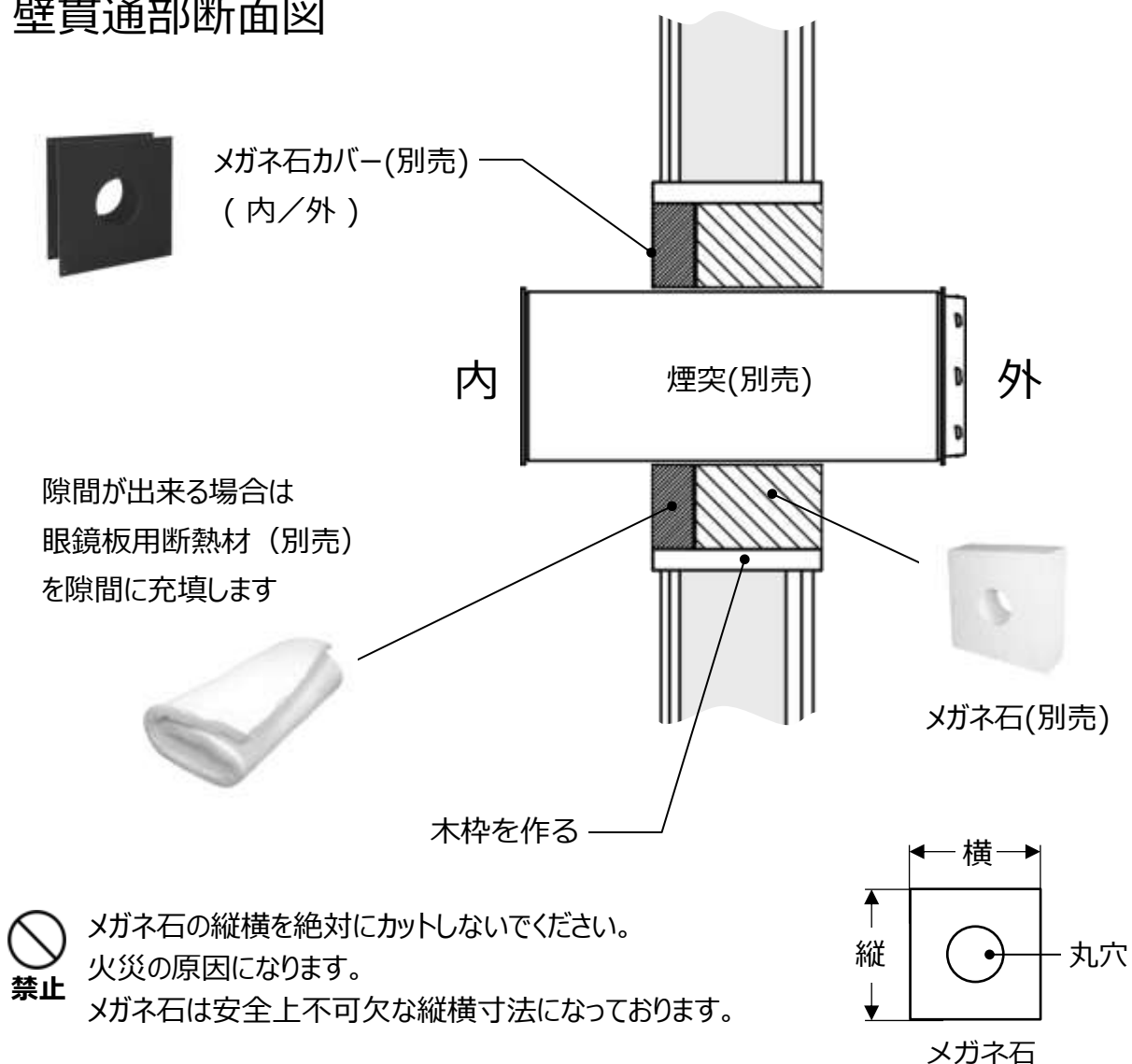
お守りいただかない場合、燃焼不良、煙の逆流、火災など起こる可能性があります。



STEP 3 壁貫通部の工事

煙突壁貫通部には必ずメガネ石をセットし、壁内部が高温にならないよう適切に施工してください。メガネ石を用いない安易な施工は火災に繋がります。

壁貫通部断面図



① 注意 - 壁貫通部の工事

- メガネ石の厚さは壁厚以上となるようにし、もし隙間ができる場合は隙間部分に眼鏡板用断熱材を充填して煙突と可燃物との間を完全に埋めてください。
- メガネ石カバー周りは耐熱コーキングを施し、壁に雨水が入り込まないように処理してください。
- 既存住宅に施工する場合は、壁を開口する際に構造上重要な柱や筋交い、配管・ケーブル類を切断しないよう十分にご注意ください。

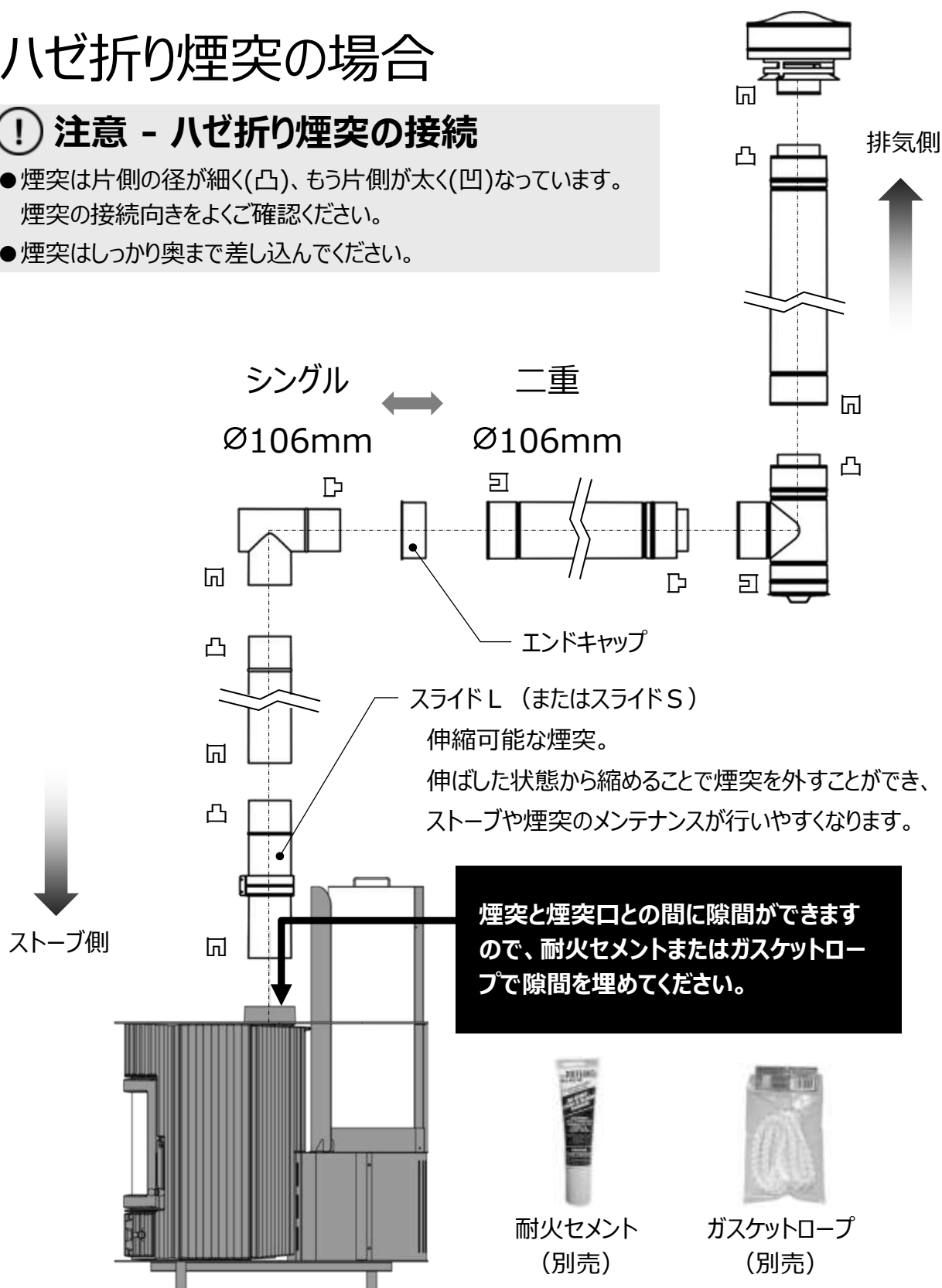
STEP 4 煙突を設置する

煙突の接続向きを誤らないよう接続向きをご確認のうえ施工をお願いします。
接続向きを誤ると途中で煙突が接続できない等のトラブルになります。

ハゼ折り煙突の場合

❗ 注意 - ハゼ折り煙突の接続

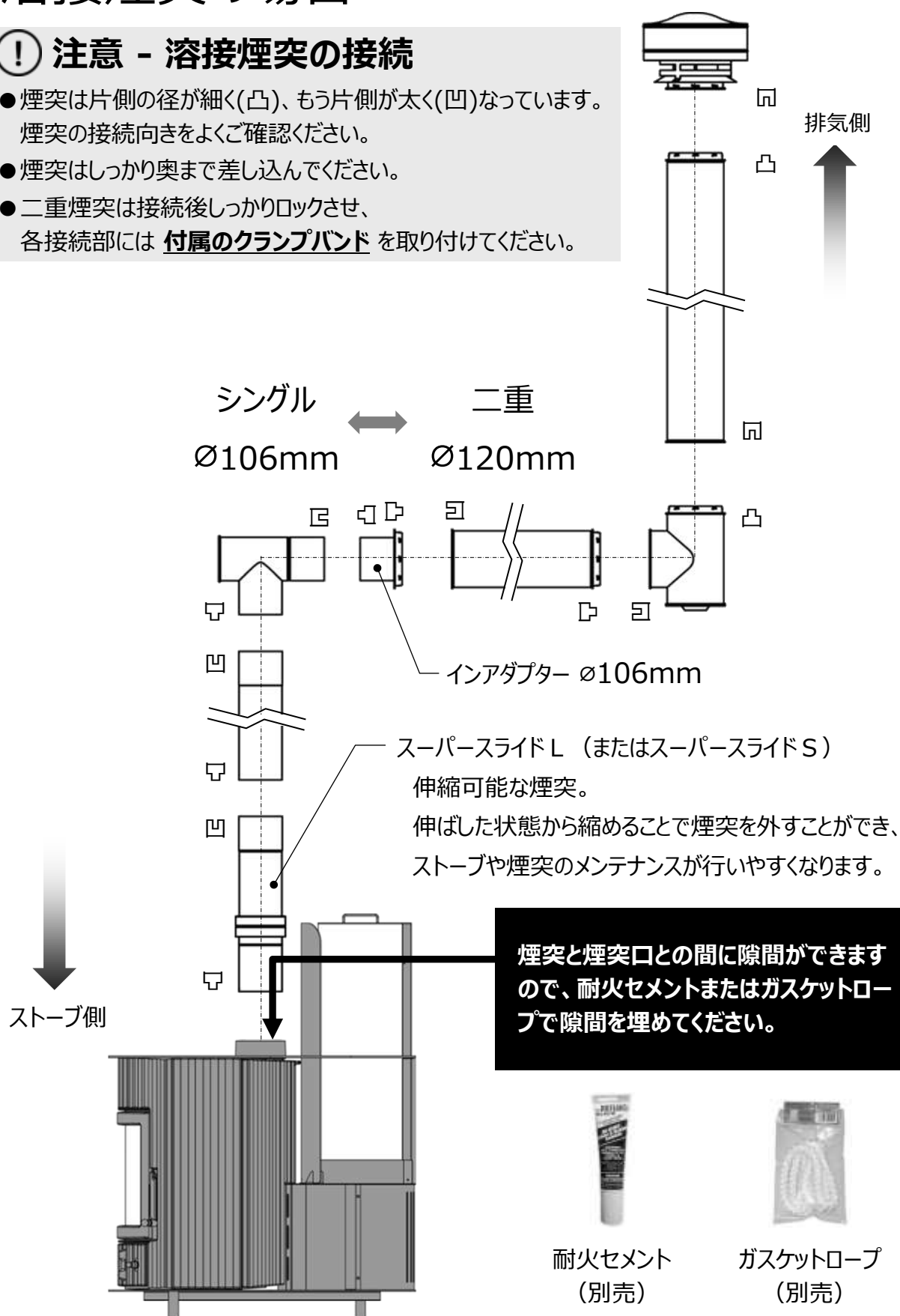
- 煙突は片側の径が細く(凸)、もう片側が太く(凹)になっています。
煙突の接続向きをよくご確認ください。
- 煙突はしっかり奥まで差し込んでください。



溶接煙突の場合

① 注意 - 溶接煙突の接続

- 煙突は片側の径が細く(凸)、もう片側が太く(凹)になっています。
煙突の接続向きをよくご確認ください。
- 煙突はしっかり奥まで差し込んでください。
- 二重煙突は接続後しっかりロックさせ、
各接続部には **付属のクランプバンド** を取り付けてください。



メンテナンスと点検

燃焼灰の処理

ストーブ内に残っている燃焼灰の処理方法を説明いたします。

燃焼灰がストーブ内に残っていると、燃焼灰が湿気を吸い込み、ストーブ内が錆びやすくなります。

ストーブ内が錆びてしまうと、部品交換ができなくなったり、金属が劣化しやすくなります。

ストーブシーズンが終わったら、ストーブ内の燃焼灰を取り除いてください。

使用部品・工具・道具

- ★金属製密閉容器 ●手ほうき ●チリトリ ●六角レンチ(対辺寸法：6mm)
- 防塵ゴーグル ●防塵マスクまたは通常マスク ●軍手



右記★印商品はホンマ製作所オンライン
ショッピングでお求めいただけます

<http://www.honma-seisakusho.jp>

- 1 ペレット供給口の燃焼灰やペレット粉を
手ほうき でペレット燃焼皿に掃き落とします。



注意

ペレット供給口が詰まると、
ペレットの供給が行えず、
ストーブ内の部品が
故障してしまう原因になります。

燃焼灰
ペレット粉



- 2 ストーブ炉内の燃焼灰を 手ほうき でペレット燃焼皿に掃き落とします。

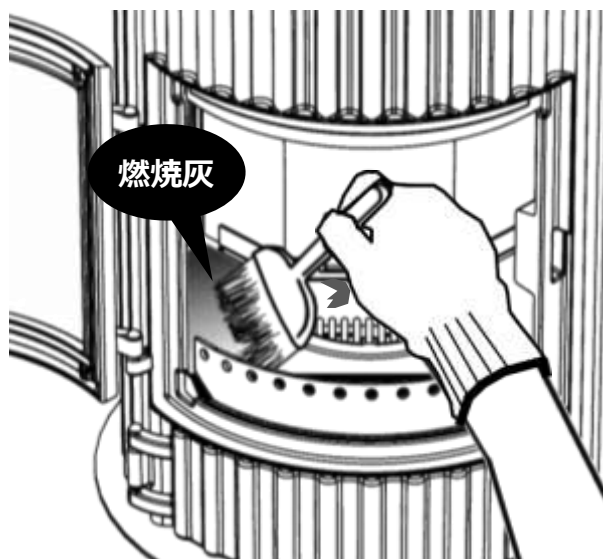


備考

薪を使う場合は、
全て掃き落とさず少量残してください。

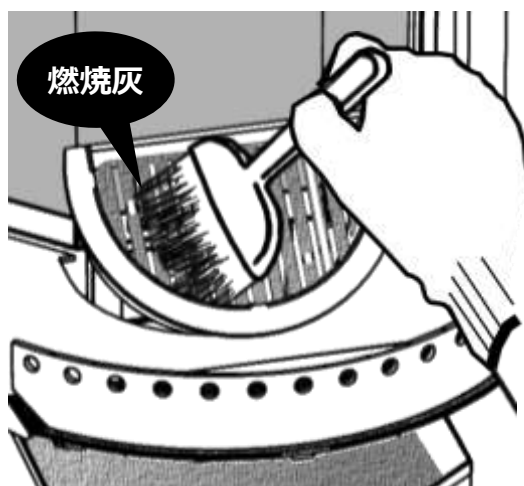
燃焼灰が残っていると、
薪の火持ちが良くなり、
部品を保護する
断熱材の役目を果たします。

燃焼灰



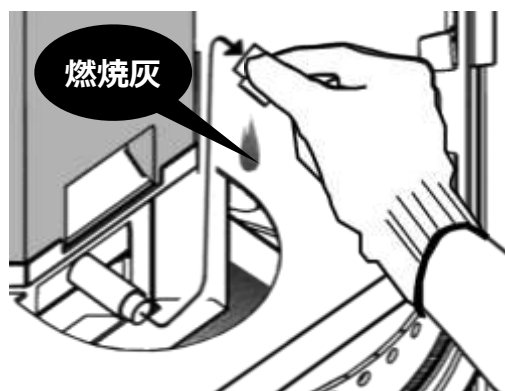
- 3 ペレット燃烧皿を持ち上げ、
燃烧灰などを全て灰受皿に掃き落とします。

❗ **注意** ペレット燃烧皿が目詰まりを起こすと、
燃烧の给气を妨げ、
不完全燃烧の原因になります。



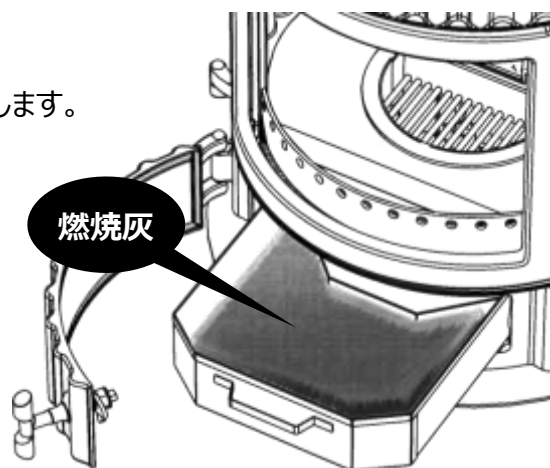
- 4 ヒーターパイプの先端は、
手前に引くことで取り外せます。
ヒーターパイプの取り外し後、
ひっくり返してパイプ内の燃烧灰を落とします。

❗ **注意** ヒーターパイプが
燃烧灰などで詰まると、
ペレットの点火に失敗する原因になります。



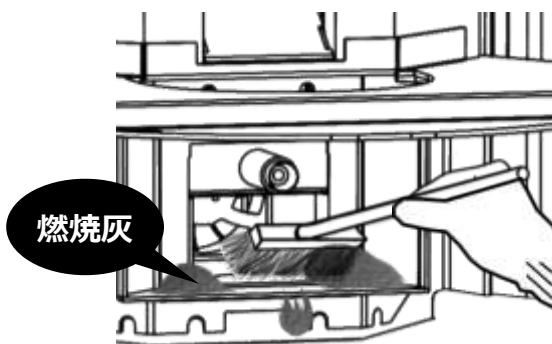
- 5 灰出扉を開いて灰受皿を取り出します。
燃烧灰がこぼれないようにゆっくり手前へ引き出します。

❗ **注意** 灰受皿から燃烧灰を移す際には、
完全に冷却していることを確認してください。
燃烧灰の中に火種が残っている場合は、
消火したことを確認後、
★金属製密闭容器 などに移してください。



- 6 空気送風口付近を確認します。
送風口付近に燃烧灰が残っている時は、
燃烧灰を掃きとってください。

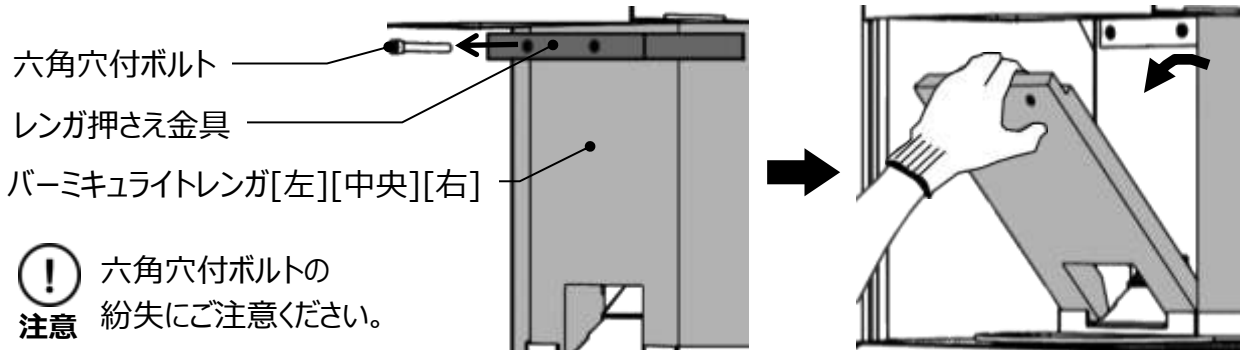
❗ **注意** 空気送風口が燃烧灰などで詰まると、
燃烧の给气を妨げ、
不完全燃烧の原因になります。



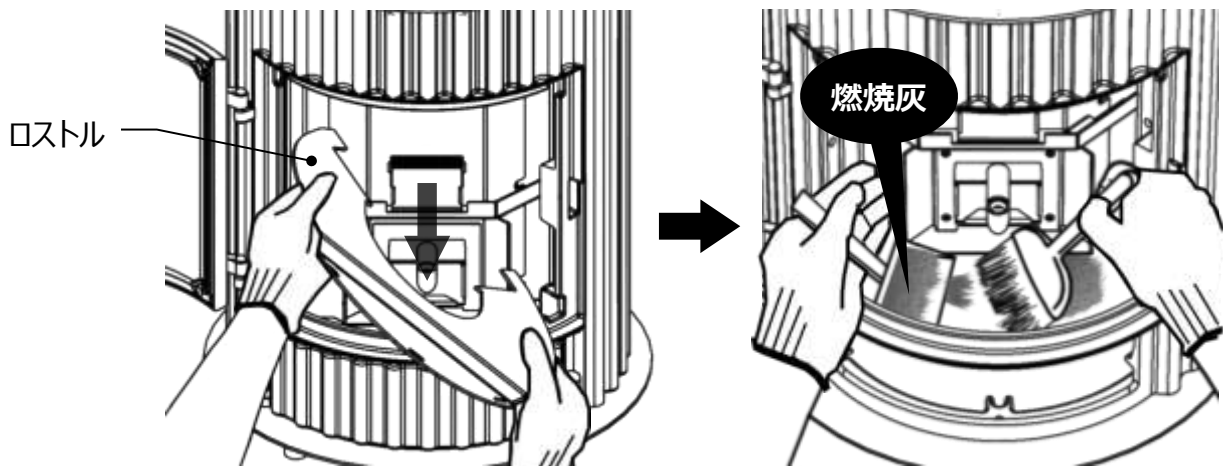
日常的な燃烧灰の処理は、手順 1 ～ 6 までとなります

ストーブシーズンが終わったら、手順 7 ～ 8 も行います

- 7 バーミキュライトレンガ[左][中央][右]をストーブから取り出します。
バーミキュライトレンガは上部のレンガ押さえ金具で固定されています。
六角レンチで六角穴付ボルトを取り、レンガ押さえ金具を外してから、
バーミキュライトレンガを[中央]、[左][右]の順番で手前に倒して取り外します。



- 8 ロストルをストーブ内から取り出し、残った燃焼灰を 手ほうき と チリトリ で取り除きます。



- 9 灰受皿 と ストーブから移した燃焼灰は、
フタ付き灰バケツ A01562BK(別売) などの
金属製密閉容器で保管してください。

 燃焼灰は、可燃性の容器に入れないでください。
禁止 火災の原因になります。



フタ付き灰バケツ A01562BK

- 10 ペレットや薪の燃焼灰はアルカリ成分の微粒子です。
畑の土壌改良剤、掃除用クレンザー、融雪剤等として幅広い用途がありますので
有効活用することができます。
灰を処分する場合は、地域の市町村窓口へお問い合わせください。
地域によって分別方法が異なりますので、指定された処分方法に従ってください。

煙突掃除

ストーブは年1回以上の煙突掃除が必須です。(掃除頻度は使用状況等によります)
煙突内は定期的にチェックし、ススが3mm以上堆積していたら掃除をお勧めします。

- 1 煙突掃除に必要な道具を用意します。
作業中はススが飛散する可能性がありますので
汚れてもよい服装で行ってください。

❗ 高所作業を行う際には、
注意 十分な安全対策を取ってください。

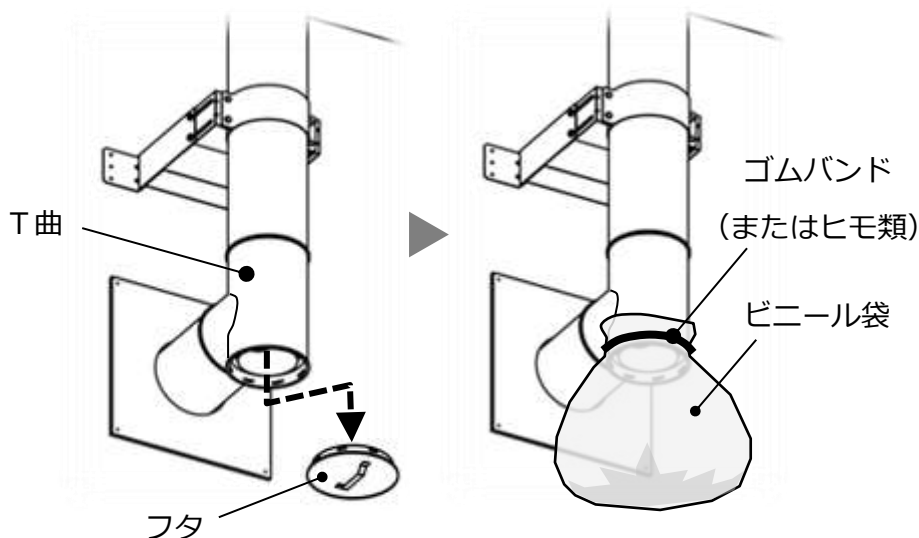


上記★印商品はホンマ製作所オンライン
ショッピングでお求めいただけます
<http://www.honma-seisakusho.jp>

使用部品・工具・道具

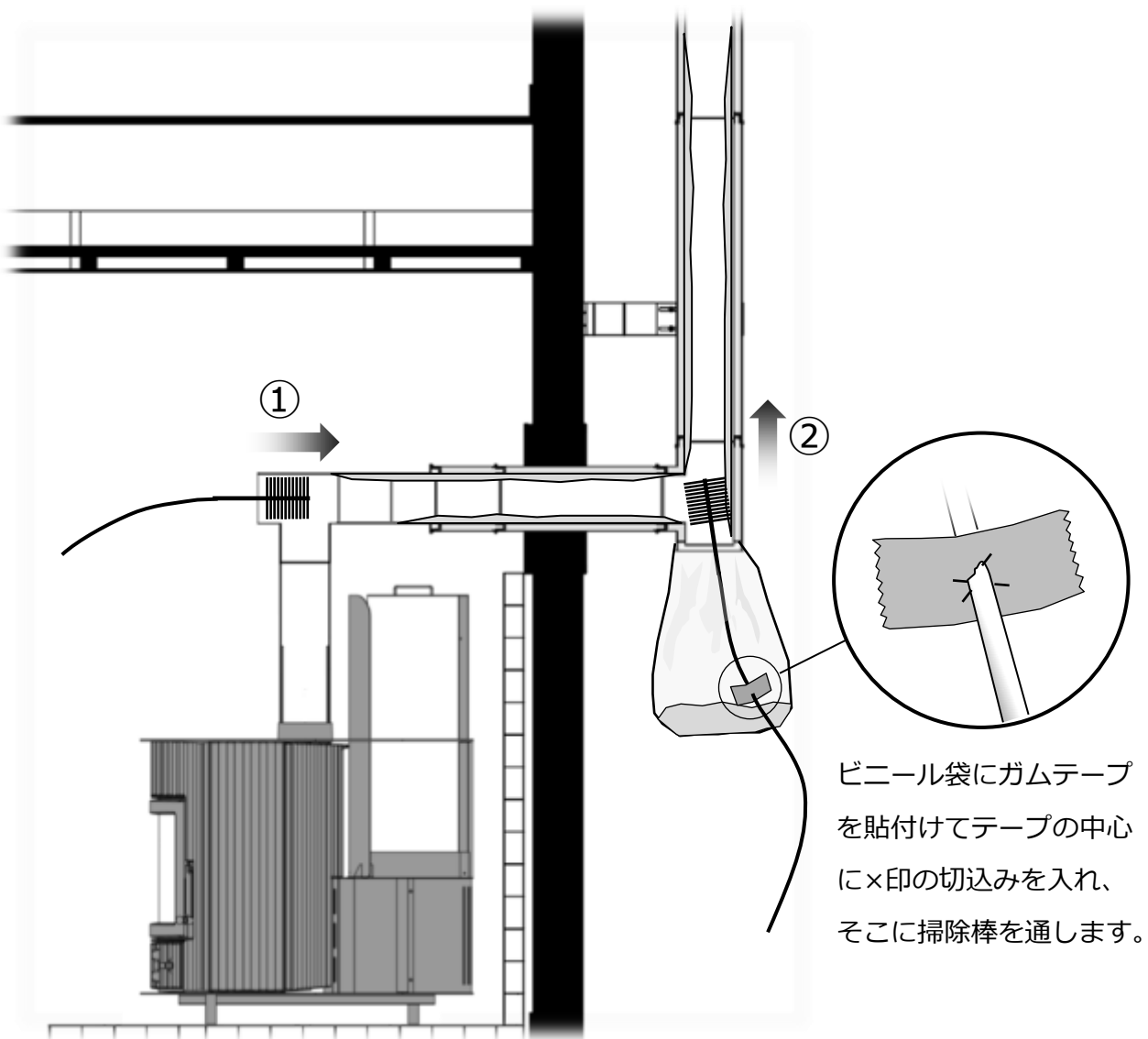
- ★ ワイヤーブラシ 106mm用
- ★ ワイヤーブラシ 120mm用
(溶接二重煙突使用の場合)
- ★ 煙突掃除棒または煙突掃除器
- 防塵ゴーグル
- 防塵マスクまたは通常マスク
- ビニール袋
- ゴムバンドまたはヒモ類
- ハサミまたはカッター
- 新聞紙、作業シート等
- 必要に応じ脚立、はしご等
- 軍手

- 2 屋外のT曲に付いているフタを外し、煙突にビニール袋を取付けます。
ビニール袋はゴムバンドまたはヒモ類を使用して煙突に固定してください。



- 3 室内にススが舞っても室内が汚れないように、
新聞紙、作業シートなどを床に敷いたり壁に貼るなどして養生します。

- 4 煙突掃除棒または煙突掃除器にワイヤーブラシをセットし、煙突内に挿入します。
擦り落としたススはビニール袋に落とします。
室内の煙突は、取り外して個別に掃除してください。



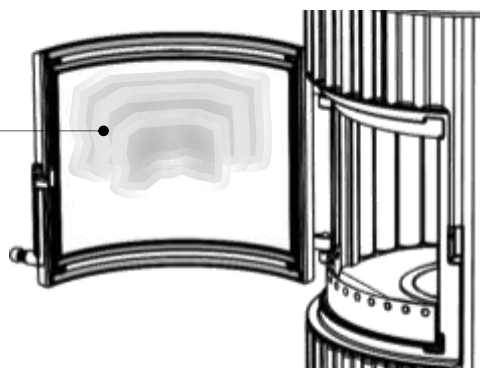
耐熱ガラスのクリーニング

耐熱ガラスに付いた汚れは専用のガラスクリーナーで落とすことが可能です。

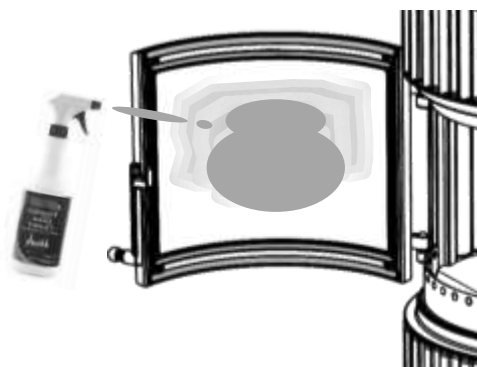


右記★印商品はホンマ製作所オンライン
ショッピングでお求めいただけます。
<http://www.honma-seisakusho.jp>

スス、タール

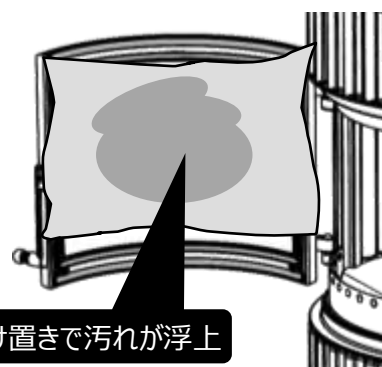


- 1 冷えた耐熱ガラスの汚れ部分に
ガラスクリーナー#82の液を吹き付けます。
(頑固な汚れには多めに。)



- 2 ガラスクリーナー#82の液を
汚れ部分全体に伸ばし、ティッシュを貼り付けます。
そのまま5～10分浸け置きします。

✕ ティッシュを貼り付けることで液ダレを予防でき、
備考 耐熱ガラスに液がよく浸透します。

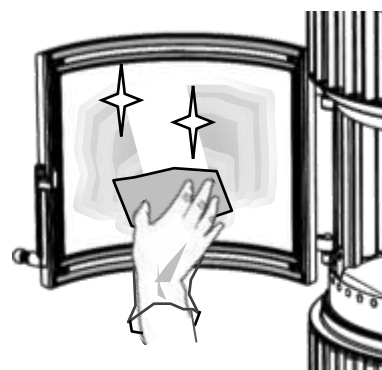


浸け置きで汚れが浮上

- 3 手が汚れないようにビニール手袋や軍手等を装着し、
布で耐熱ガラスの汚れを拭き取ります。
浸け置き時間が短いと汚れが落ちにくい場合があります。

⚠ 耐熱ガラスを擦りすぎないでください。
注意 耐熱ガラスが破損する原因になります。

✕ より頑固な汚れには、
備考 コンディショニングガラスクリーナー#84 をお勧めします。



故障・異常の見分けかたと処置のしかた

故障・異常のお知らせ（エラーコード表示の見分けかた）

ストーブを使用中に安全装置が作動すると、操作パネルの表示部に "エラーコード" が表示されます。エラーコードの内容によって、ストーブの点検や修理を行う必要があります。

火力 風量 E1	内容 ペレットタンクのフタが差込口に差し込まれていないため、ペレットの供給と燃烧空気の送風を停止した。 処置方法 ペレットタンクのフタを差込口に正しく差し込んでください。（参照：P8 3）
火力 風量 E2	内容 異常過熱を検知したため、強制消火を行った。 処置方法 ストーブの冷却をお待ちください。過熱検知中は操作を受け付けません。ストーブの温度が十分に下がってから電源ボタンを押すと、エラーコードの表示が消え、稼働前の状態に復帰します。
火力 風量 E3	内容 ストーブの強い揺れを検知したため、強制消火を行った。 処置方法 揺れがおさまリ、ストーブ・煙突等に異常がないことを確認してから、ストーブを再稼働してください。電源ボタンを押すとエラーコードの表示が消え、稼働前の状態に復帰します。
火力 風量 E6	内容 燃烧空気送風ファンに異常が発生したため、ペレットの供給を停止した。 処置方法 燃烧空気送風ファンの 点検 もしくは 交換 を行う必要があります。ストーブの使用を中止し、販売店 もしくは 弊社までご連絡ください。
火力 風量 E7	内容 点火ヒーターに異常が発生したため、強制消火を行った。 処置方法 点火ヒーターの 交換 を行う必要があります。ストーブの使用を中止し、販売店 もしくは 弊社までご連絡ください。

※ エラーコードが頻繁に表示される時やストーブが再稼働できない時は、
備考 お買い上げの販売店 もしくは 弊社までご連絡ください。

部品交換の方法

耐熱ガラス と ガスケットロープ の交換

ガスケットロープの劣化(硬化、切れ、繊維崩れ)や耐熱ガラスの破損が起こったら交換が必要です。耐熱ガラスが破損したままですと危険ですのご使用を中止してください。

使用部品・工具・道具

★YNE-60 正面ガラス ★ガスケットロープ 6mm, 8mm ★耐火セメント ガスケット用 #77E
●六角レンチ(対辺寸法: 4mm) ●ワイヤーブラシ ●新聞紙 ●軍手

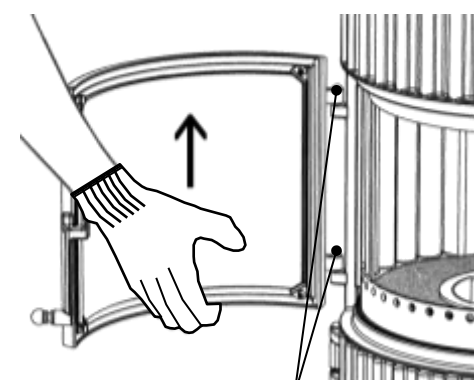


右記★印商品はホンマ製作所オンライン
ショッピングでお求めいただけます。
<http://www.honma-seisakusho.jp>

1 正面扉を開き、上に持ち上げて正面扉を外します。

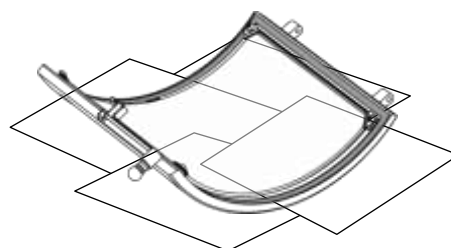


扉の落下には、十分ご注意ください。
注意 ヒンジピン と ワッシャー の紛失にもご注意ください。



ヒンジピン、ワッシャー

2 床に新聞紙を敷き、正面扉を置きます。



3 六角レンチを使って、正面扉の四隅に
使われているガラス止め金具を外します。

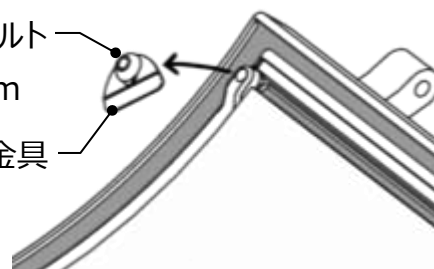


ガラス止め金具と六角ボタンボルトの
紛失にごご注意ください。
注意

六角ボタンボルト

M6 x 8mm

ガラス止め金具

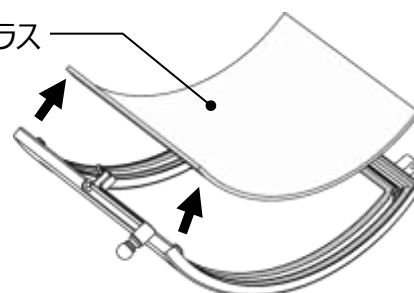


4 ガラス止め金具を外すと、
耐熱ガラスが外せるようになります。



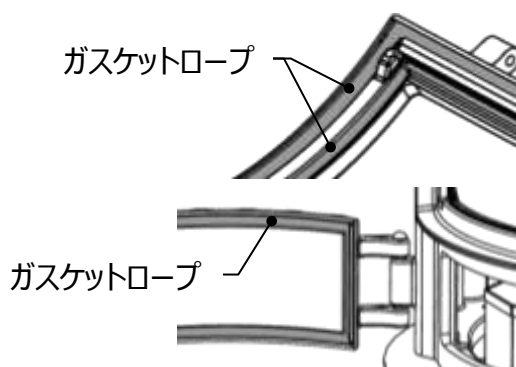
破損した耐熱ガラスの
取り扱いには十分ご注意ください。
注意

耐熱ガラス



5 正面扉と灰出扉のガスケットロープを剥がします。

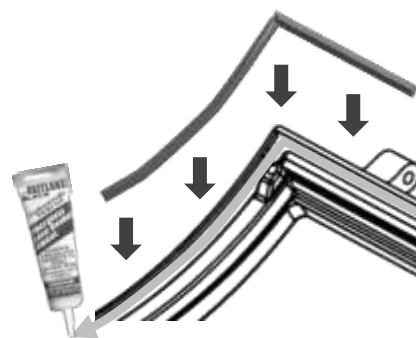
- ✕ 使用されているガスケットロープ
- 備考 正面扉(縁) … 8mm 1.4m
正面扉(ガラス周り) … 6mm 1.3m
灰出扉(縁) … 8mm 0.9m



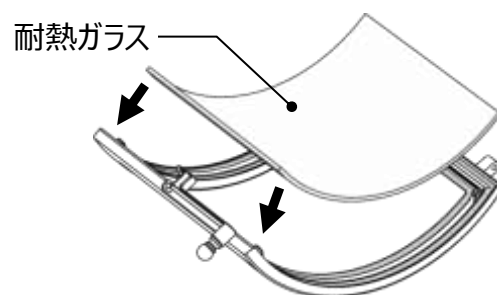
6 ガスケットロープが付いていた溝をワイヤブラシなどで磨いてキレイにしてください。 溝をキレイにすることで新しいガスケットロープがしっかりと接着できます。

7 正面扉と灰出扉のガスケットロープを交換します。 ロープ溝に沿って耐火セメント ガスケット用 #77Eを 適量敷いてから、新しいガスケットロープを置き、 しっかりとロープを溝に押し付けて接着してください。

- ⚠ 耐火セメントの量が足りないと
ロープが剥がれてしまう場合があります。
注意 耐火セメントは乾燥まで数時間～1日かかります。

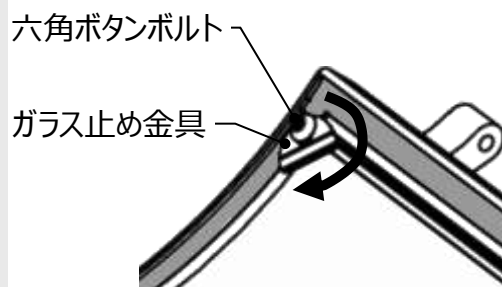


8 耐熱ガラスを取り付けます。 ガラス止め金具と六角ボタンボルトを使って 耐熱ガラスを正面扉に固定します。



⚠ 注意 - 耐熱ガラスの取付

耐熱ガラスは、温度変化によって僅かに伸縮します。
ガラス止め金具を強く固定されると、
耐熱ガラスが伸縮できずに亀裂が入る原因になります。
ガラス止め金具は、強く固定せず
僅かに動くくらいの適度な力で固定してください。



9 ストープ本体に正面扉を付け直します。

バーミキュライトレンガの交換

バーミキュライトレンガが破損したときは、交換が必要です。バーミキュライトレンガが破損したままご使用されると、ストーブ背面が高温になり、部品の故障につながるおそれがあります。

使用部品・工具・道具

★YNE-60 バーミキュライトレンガ[左][中央][右] ●六角レンチ(対辺寸法：6mm) ●新聞紙 ●軍手



右記★印商品はホンマ製作所オンライン
ショッピングでお求めいただけます。
<http://www.honma-seisakusyo.jp>

- 1 正面扉を開き、六角レンチを使って
バーミキュライトレンガ[中央]の上部に
ついている六角穴付ボルトを取り、
レンガ押さえ金具を外します。



注意

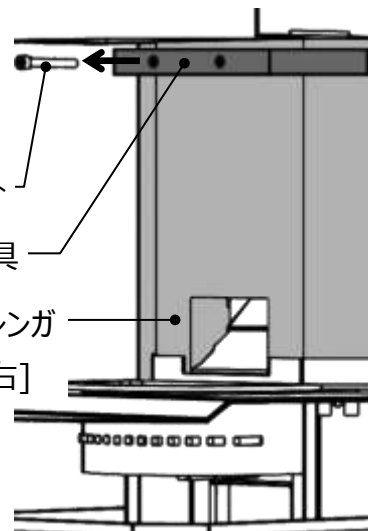
六角穴付ボルトの紛失にご注意ください。

六角穴付ボルト

レンガ押さえ金具

バーミキュライトレンガ

[左][中央][右]

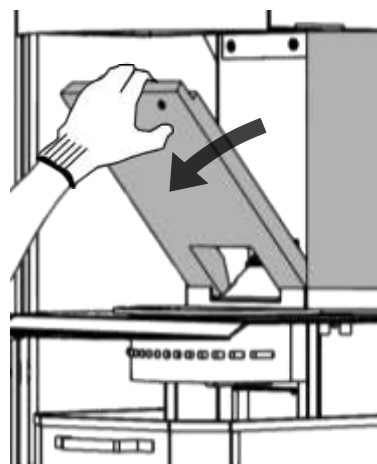


- 2 バーミキュライトレンガ[中央]を手前に傾けて
ストーブから取り外します。
バーミキュライトレンガ[左][右]も同様の方法で
ストーブから取り外します。



注意

バーミキュライトレンガを取り出す時は、
ススや燃焼灰が飛散する場合があるので、
ストーブ周辺に新聞紙などを敷いてください。



- 3 バーミキュライトレンガを[左][右]、[中央]の順番で取り付けます。

- 4 レンガ押さえ金具を取り付けます。

困ったときのQ&A

Q1 ストープ本体から煙が逆流する！

1. 煙突トップの周囲に壁等の障害物がないですか？
煙突を屋根上（または障害物）より高く上げ、建物の影響を受けないようにしましょう。
(参考：P.23)
2. 煙突が詰まっていますか？
煙突内だけでなく煙突トップも確認して溜まったススをしっかり落としてください。
(参考：P.30)
3. 煙突の横引きが長すぎませんか？
煙突の横引きが長すぎると排煙効率が大きく低下します。結果として煙が逆流する場合があります。煙突の横引きは1.5m以下になるようにしましょう。(参考：P.23)
4. 強風の影響を受けていませんか？
風が強い場所では、煙突トップに風が吹き込み排煙を阻害することがあります。
逆風対策の煙突トップに変えることで改善する場合があります。お問い合わせください。

Q2 ストープから異臭がする！

新品のストープを初焚きする際、ストープ本体に塗られた耐熱塗料の焼ける臭いが出ます。また、うっすらと白い煙が本体から出る場合がございますが、異常ではありません。本体温度300℃前後の高温で約1～2時間ほど燃焼しますと煙も出なくなりますので、症状がおさまるまで換気しながらご使用ください。

Q3 ペレットや薪はどこで入手できる？

木質ペレットや広葉樹薪は、ホームセンターやインターネット通販などで購入できます。

Q4 ペレットや薪を燃やした後に残る燃焼灰の処理は？

ペレットや薪の燃焼灰はアルカリ成分の微粒子です。畑の土壌改良剤、掃除用クレンザー、融雪剤等として幅広い用途がありますので有効活用することができます。(参考：P.29)
灰を処分する場合は、地域の市町村窓口へお問い合わせください。
地域によって分別方法が異なりますので、指定された処分方法に従ってください。

Q5 ストープの交換部品を手に入りたい時は？

ストープ本体に使用されている消耗品・メンテナンス用品・ストープ部品などをご用命の際には、弊社もしくはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

Q6 ストープ本体の処分方法は？

ご使用いただいたストープを処分する際は、粗大ごみ扱いとなる場合がございますので、地域の市町村窓口、またはごみ回収業者へお問い合わせください。

【製造販売元】



〒950-1237 新潟県新潟市南区北田中801番地 8
【TEL】 025-362-1235 【FAX】 025-362-1238
【Eメール】 support@honma-seisakusyo.co.jp
【WEB】 <http://www.honma-seisakusyo.co.jp>

【お問い合わせ受付時間】 9:00～17:00
(弊社休業日は休ませていただきます)

※ 製品の仕様および取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。
※ 本製品は、行き届いた品質管理を行っておりますが、
お気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。